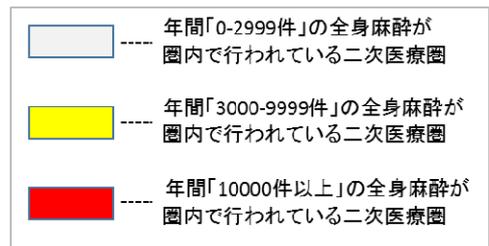
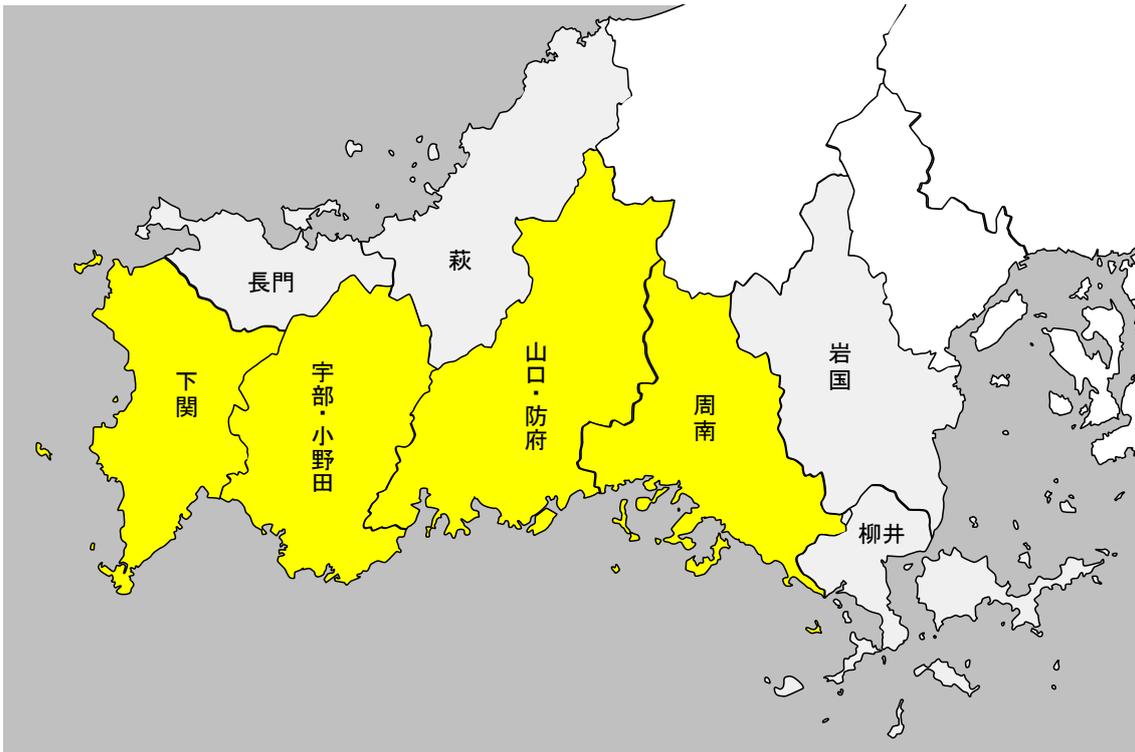


35. 山口県



目次

山口県	35	-	3
1. 岩国医療圏	35	-	9
2. 柳井医療圏	35	-	15
3. 周南医療圏	35	-	21
4. 山口・防府医療圏	35	-	27
5. 宇部・小野田医療圏	35	-	33
6. 下関医療圏	35	-	39
7. 長門医療圏	35	-	45
8. 萩医療圏	35	-	51

山口県

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は150,814人(-10%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は311人(10%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は245人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は22%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

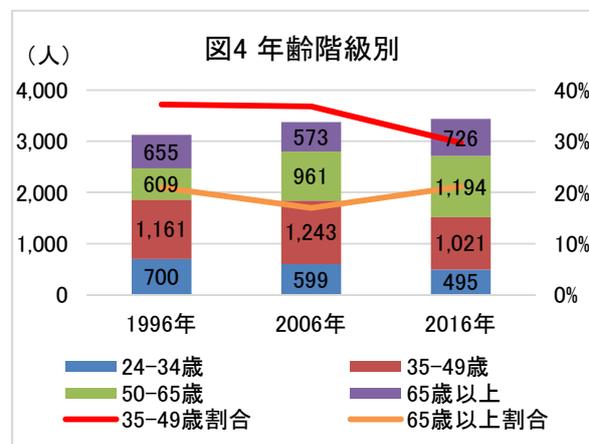
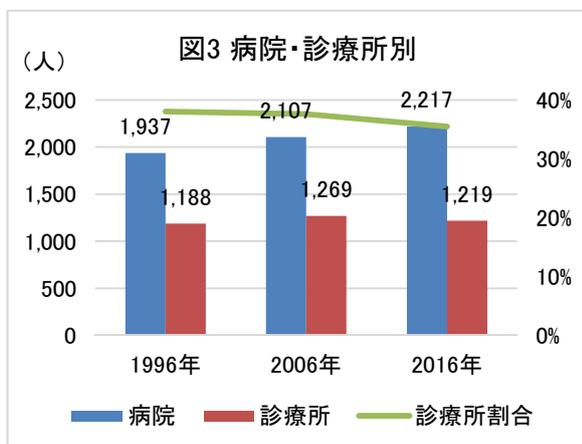
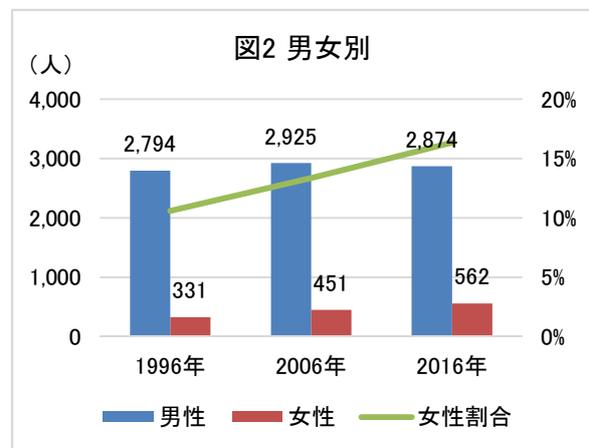
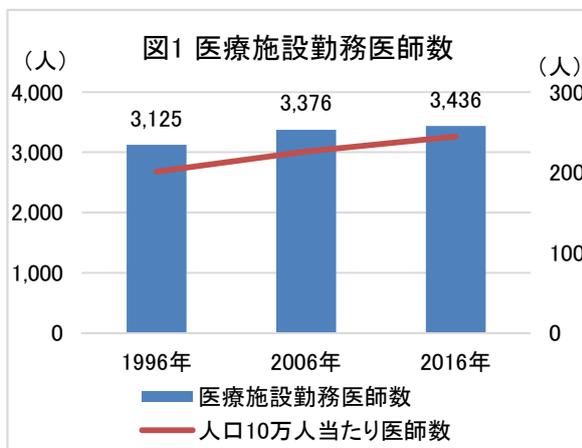
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて80人(3%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に231人(70%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて280人(14%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に31人(3%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は140人(-12%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて71人(11%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年21%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

山口県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,555,543	1,492,606	1,404,729	-150,814	-10%	-62,937	-4%	-87,877	-6%	
総医師数	3,245	3,588	3,615	370	11%	343	11%	27	1%	
人口10万対	208.6	240.4	257.3	48.7	23%	31.8	15%	17.0	7%	
医療施設勤務医師数	3,125	3,376	3,436	311	10%	251	8%	60	2%	
人口10万対	200.9	226.2	244.6	43.7	22%	25.3	13%	18.4	8%	
男性医師数	2,794	2,925	2,874	80	3%	131	5%	-51	-2%	
人口10万対	179.6	196.0	204.6	25.0	14%	16.4	9%	8.6	4%	
女性医師数	331	451	562	231	70%	120	36%	111	25%	
人口10万対	21.3	30.2	40.0	18.7	88%	8.9	42%	9.8	32%	
病院勤務医師数	1,937	2,107	2,217	280	14%	170	9%	110	5%	
人口10万対	124.5	141.2	157.8	33.3	27%	16.6	13%	16.7	12%	
診療所勤務医師数	1,188	1,269	1,219	31	3%	81	7%	-50	-4%	
人口10万対	76.4	85.0	86.8	10.4	14%	8.6	11%	1.8	2%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.0	49.9	52.5	3.6	7%	0.9	2%	2.6	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	700	599	495	-205	-29%	-101	-14%	-104	-17%
	35-49歳	1,161	1,243	1,021	-140	-12%	82	7%	-222	-18%
	50-64歳	609	961	1,194	585	96%	352	58%	233	24%
	65歳以上	655	573	726	71	11%	-82	-13%	153	27%
	75歳以上(再掲)	211	264	255	44	21%	53	25%	-9	-3%
男性	24-34歳	574	450	345	-229	-40%	-124	-22%	-105	-23%
	35-49歳	1,040	1,068	797	-243	-23%	28	3%	-271	-25%
	50-64歳	570	863	1,063	493	86%	293	51%	200	23%
	65歳以上	610	544	669	59	10%	-66	-11%	125	23%
	75歳以上(再掲)	187	251	246	59	32%	64	34%	-5	-2%
女性	24-34歳	126	149	150	24	19%	23	18%	1	1%
	35-49歳	121	175	224	103	85%	54	45%	49	28%
	50-64歳	39	98	131	92	236%	59	151%	33	34%
	65歳以上	45	29	57	12	27%	-16	-36%	28	97%
	75歳以上(再掲)	24	13	9	-15	-63%	-11	-46%	-4	-31%
病院	24-34歳	677	573	483	-194	-29%	-104	-15%	-90	-16%
	35-49歳	829	911	802	-27	-3%	82	10%	-109	-12%
	50-64歳	255	420	639	384	151%	165	65%	219	52%
	65歳以上	176	203	293	117	66%	27	15%	90	44%
	75歳以上(再掲)	52	82	112	60	115%	30	58%	30	37%
診療所	24-34歳	23	26	12	-11	-48%	3	13%	-14	-54%
	35-49歳	332	332	219	-113	-34%	0	0%	-113	-34%
	50-64歳	354	541	555	201	57%	187	53%	14	3%
	65歳以上	479	370	433	-46	-10%	-109	-23%	63	17%
	75歳以上(再掲)	159	182	143	-16	-10%	23	14%	-39	-21%
	85歳以上(再掲)	26	25	39	13	50%	-1	-4%	14	56%

山口県

＜医師数の推移＞

山口県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、脳神経外科、泌尿器科であり、少ない診療科は、小児外科、形成外科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	3,125	200.9	52	3,376	226.2	52	3,436	244.6	51	311	10%	43.7	22%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,291	83.0	52	1,322	88.6	54	1,299	92.5	51	8	1%	9.5	11%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	159	10.2	48	167	11.2	49	176	12.5	49	17	11%	2.3	23%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	142	9.1	53	178	11.9	55	202	14.4	54	60	42%	5.3	58%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	393	25.3	55	353	23.6	58	347	24.7	58	-46	-12%	-0.6	-2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	3	0.2	46	7	0.5	49	4	0.3	45	1	33%	0.1	48%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	25	1.6	50	27	1.8	49	31	2.2	49	6	24%	0.6	37%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	97	6.2	57	97	6.5	57	109	7.8	58	12	12%	1.5	24%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	232	14.9	54	253	17.0	55	250	17.8	52	18	8%	2.9	19%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	6	0.4	44	10	0.7	44	14	1.0	43	8	133%	0.6	158%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	86	5.5	50	100	6.7	52	91	6.5	48	5	6%	0.9	17%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	128	8.2	49	137	9.2	49	135	9.6	48	7	5%	1.4	17%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	122	7.8	52	115	7.7	52	102	7.3	50	-20	-16%	-0.6	-7%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	74	4.8	53	94	6.3	57	102	7.3	57	28	38%	2.5	53%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	153	9.8	50	125	8.4	48	132	9.4	48	-21	-14%	-0.4	-4%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	5	0.3	45	15	1.0	46	33	2.3	53	28	560%	2.0	631%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	77	5.0	55	85	5.7	56	91	6.5	54	14	18%	1.5	31%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	69	4.4	51	74	5.0	50	97	6.9	49	28	41%	2.5	56%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				24	1.6	52	27	1.9	47	3	13%	0.3	20%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				129	8.6	47	150	10.7	47	150	16%	2.0	24%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	63	4.1	49	64	4.3	48	44	3.1	43	-19	-30%	-0.9	-23%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

山口県

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は266,036人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は66人(-2%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は296人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

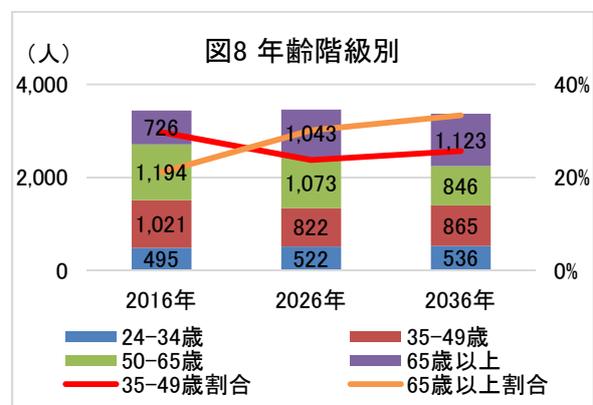
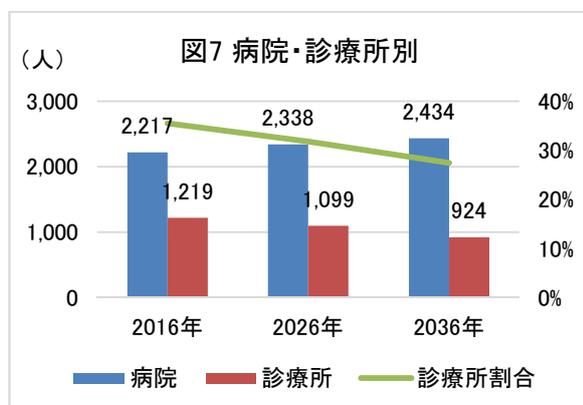
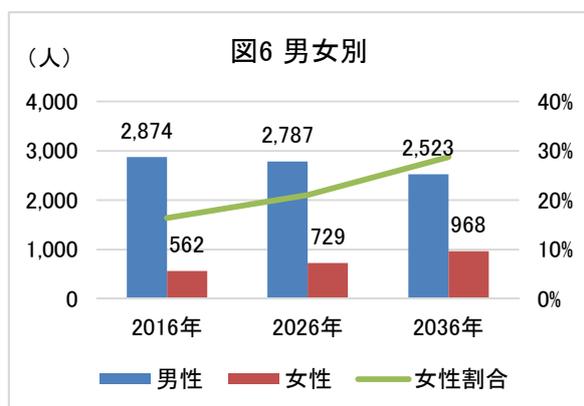
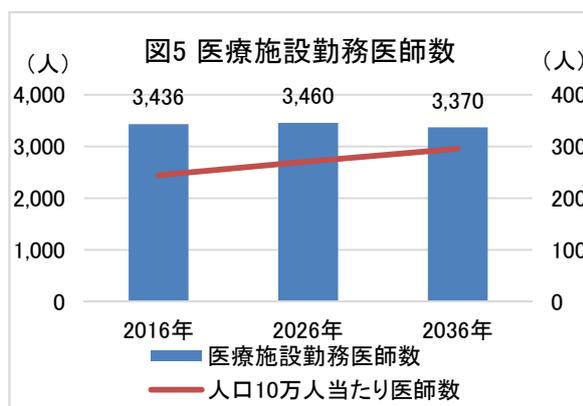
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて351人(-12%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に406人(72%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は29%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて217人(10%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に295人(-24%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は27%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は156人(-15%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて397人(55%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年33%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



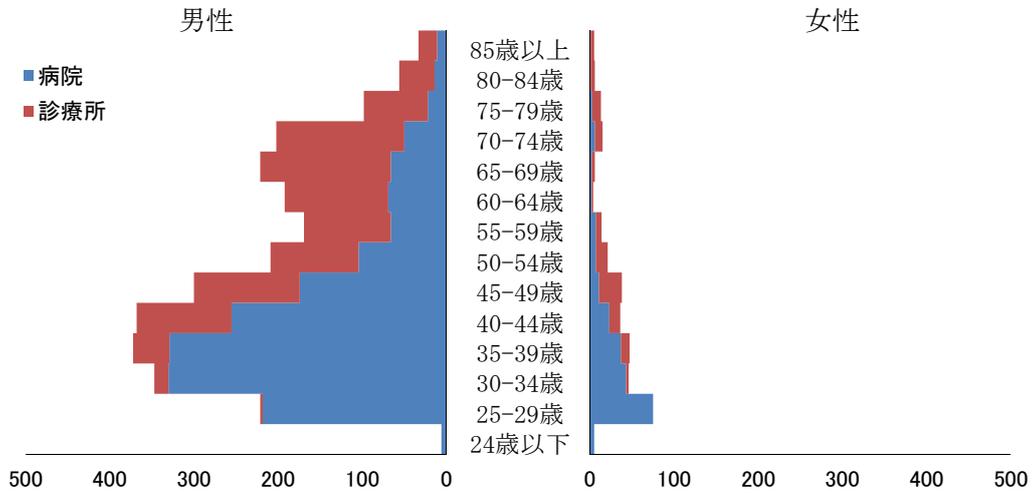
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山口県

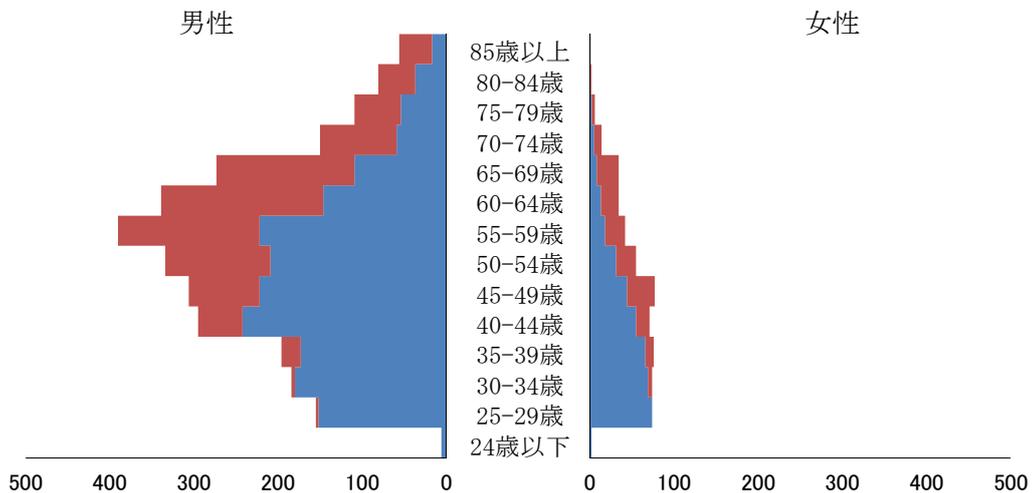
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

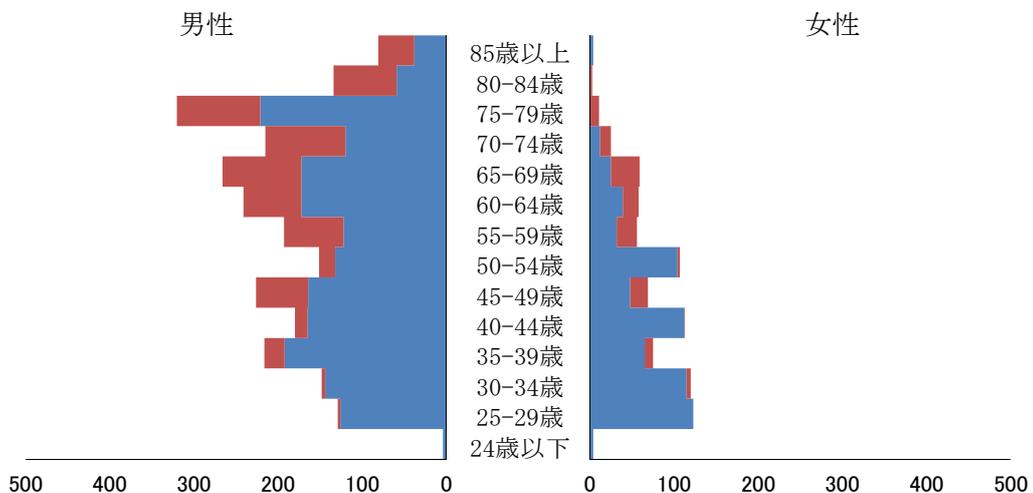
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山口県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年	
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率
総人口	1,404,729	1,275,187	1,138,693	-266,036	-19%	-129,542	-9%	-136,494	-11%
医療施設勤務医師数	3,436	3,460	3,370	-66	-2%	24	1%	-90	-3%
人口10万対	244.6	271.3	296.0	51.4	21%	26.7	11%	24.6	9%
男性医師数	2,874	2,787	2,523	-351	-12%	-87	-3%	-264	-9%
人口10万対	204.6	218.6	221.6	17.0	8%	14.0	7%	3.0	1%
女性医師数	562	729	968	406	72%	167	30%	239	33%
人口10万対	40.0	57.2	85.0	45.0	112%	17.2	43%	27.8	49%
病院勤務医師数	2,217	2,338	2,434	217	10%	121	5%	96	4%
人口10万対	157.8	183.3	213.8	55.9	35%	25.5	16%	30.4	17%
診療所勤務医師数	1,219	1,099	924	-295	-24%	-120	-10%	-175	-16%
人口10万対	86.8	86.2	81.1	-5.6	-6%	-0.6	-1%	-5.0	-6%
医療施設勤務医師数	24-34歳	495	522	27	5%	14	3%		
	35-49歳	1,021	822	-199	-19%	43	5%		
	50-64歳	1,194	1,073	-121	-10%	-227	-21%		
	65歳以上	726	1,043	317	44%	80	8%		
	75歳以上(再掲)	255	364	109	43%	158	43%		
男性	24-34歳	345	363	18	5%	-80	-22%		
	35-49歳	797	585	-212	-27%	48	8%		
	50-64歳	1,063	887	-176	-17%	-264	-30%		
	65歳以上	669	952	283	42%	32	3%		
	75歳以上(再掲)	246	340	94	38%	146	43%		
女性	24-34歳	150	157	7	5%	90	57%		
	35-49歳	224	316	92	41%	1	0%		
	50-64歳	131	172	41	31%	116	67%		
	65歳以上	57	84	27	47%	32	38%		
	75歳以上(再掲)	9	25	16	178%	7	28%		
病院	24-34歳	483	510	27	6%	13	3%		
	35-49歳	802	655	-147	-18%	41	6%		
	50-64歳	639	668	29	5%	-112	-17%		
	65歳以上	293	505	212	72%	154	30%		
	75歳以上(再掲)	112	170	58	52%	147	86%		
診療所	24-34歳	12	12	0	0%	0	0%		
	35-49歳	219	173	-46	-21%	4	2%		
	50-64歳	555	372	-183	-33%	-120	-32%		
	65歳以上	433	542	109	25%	-59	-11%		
	75歳以上(再掲)	143	190	47	33%	49	26%		
	85歳以上(再掲)	39	34	-5	-13%	11	32%		

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岩国医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は20,264人(-12%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は6人(-2%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は201人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は12%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

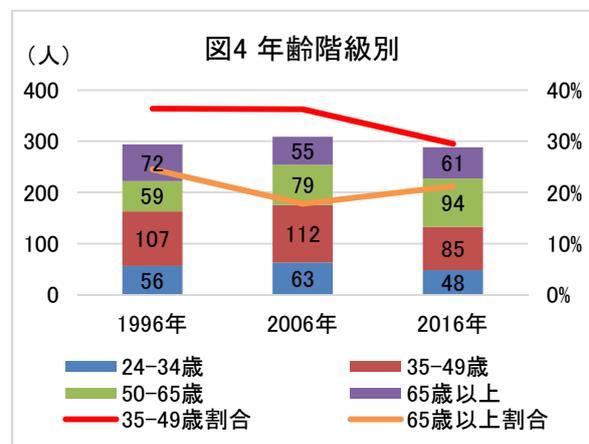
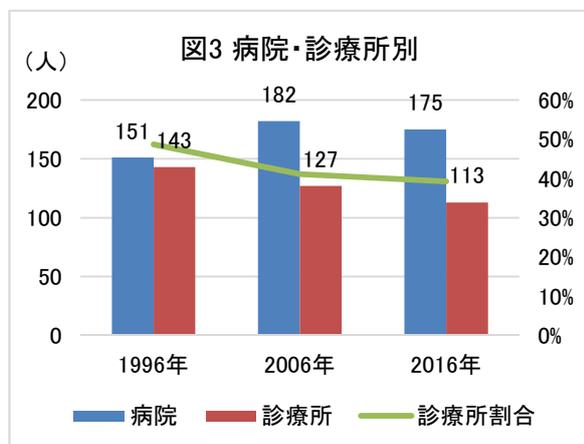
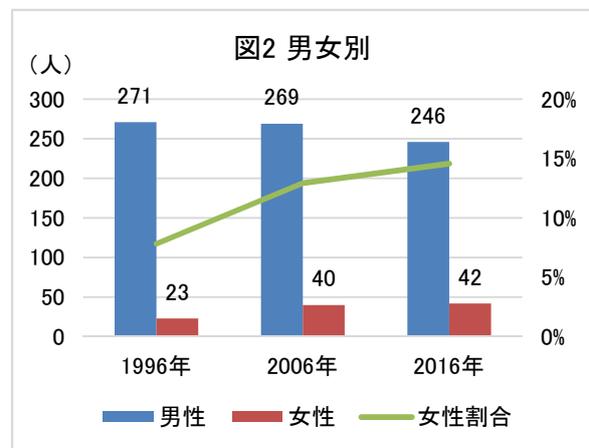
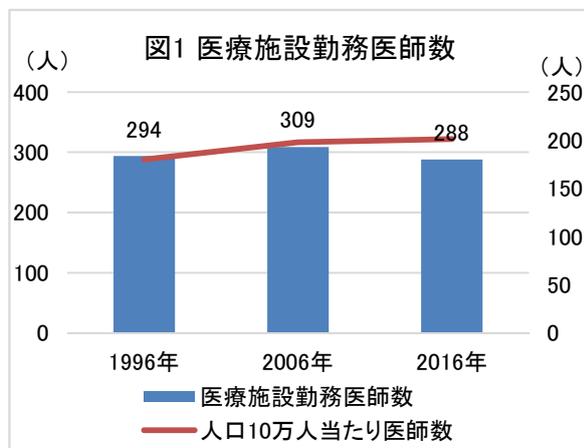
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて25人(-9%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に19人(83%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて24人(16%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に30人(-21%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は39%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は22人(-21%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて11人(-15%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年24%、2016年21%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

岩国医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	163,306	156,143	143,042	-20,264	-12%	-7,163	-4%	-13,101	-8%	
総医師数	300	328	302	2	1%	28	9%	-26	-8%	
人口10万対	183.7	210.1	211.1	27.4	15%	26.4	14%	1.1	1%	
医療施設勤務医師数	294	309	288	-6	-2%	15	5%	-21	-7%	
人口10万対	180.0	197.9	201.3	21.3	12%	17.9	10%	3.4	2%	
男性医師数	271	269	246	-25	-9%	-2	-1%	-23	-9%	
人口10万対	165.9	172.3	172.0	6.0	4%	6.3	4%	-0.3	0%	
女性医師数	23	40	42	19	83%	17	74%	2	5%	
人口10万対	14.1	25.6	29.4	15.3	108%	11.5	82%	3.7	15%	
病院勤務医師数	151	182	175	24	16%	31	21%	-7	-4%	
人口10万対	92.5	116.6	122.3	29.9	32%	24.1	26%	5.8	5%	
診療所勤務医師数	143	127	113	-30	-21%	-16	-11%	-14	-11%	
人口10万対	87.6	81.3	79.0	-8.6	-10%	-6.2	-7%	-2.3	-3%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.5	49.6	51.6	1.1	2%	-0.9	-2%	2.0	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	56	63	48	-8	-14%	7	13%	-15	-24%
	35-49歳	107	112	85	-22	-21%	5	5%	-27	-24%
	50-64歳	59	79	94	35	59%	20	34%	15	19%
	65歳以上	72	55	61	-11	-15%	-17	-24%	6	11%
	75歳以上(再掲)	27	23	17	-10	-37%	-4	-15%	-6	-26%
男性	24-34歳	49	50	41	-8	-16%	1	2%	-9	-18%
	35-49歳	98	95	66	-32	-33%	-3	-3%	-29	-31%
	50-64歳	57	71	81	24	42%	14	25%	10	14%
	65歳以上	67	53	58	-9	-13%	-14	-21%	5	9%
	75歳以上(再掲)	26	22	17	-9	-35%	-4	-15%	-5	-23%
女性	24-34歳	7	13	7	0	0%	6	86%	-6	-46%
	35-49歳	9	17	19	10	111%	8	89%	2	12%
	50-64歳	2	8	13	11	550%	6	300%	5	63%
	65歳以上	5	2	3	-2	-40%	-3	-60%	1	50%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	52	60	48	-4	-8%	8	15%	-12	-20%
	35-49歳	64	76	60	-4	-6%	12	19%	-16	-21%
	50-64歳	21	31	49	28	133%	10	48%	18	58%
	65歳以上	14	15	18	4	29%	1	7%	3	20%
	75歳以上(再掲)	6	3	5	-1	-17%	-3	-50%	2	67%
診療所	24-34歳	4	3	0	-4	-100%	-1	-25%	-3	-100%
	35-49歳	43	36	25	-18	-42%	-7	-16%	-11	-31%
	50-64歳	38	48	45	7	18%	10	26%	-3	-6%
	65歳以上	58	40	43	-15	-26%	-18	-31%	3	8%
	75歳以上(再掲)	21	20	12	-9	-43%	-1	-5%	-8	-40%
	85歳以上(再掲)	5	4	2	-3	-60%	-1	-20%	-2	-50%

岩国医療圏

＜医師数の推移＞

岩国医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、心臓血管外科であり、少ない診療科は、小児科、小児外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、小児外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、泌尿器科、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	294	180.0	50	309	197.9	49	288	201.3	46	-6	-2%	21.3	12%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	129	79.0	51	123	78.8	50	119	83.2	48	-10	-8%	4.2	5%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	15	9.2	46	16	10.2	47	15	10.5	45	0	0%	1.3	14%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	16	9.8	54	18	11.5	54	18	12.6	51	2	13%	2.8	28%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	47	28.8	59	40	25.6	61	29	20.3	52	-18	-38%	-8.5	-30%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.6	53	2	1.3	63	0	0.0	41	-1	-100%	-0.6	-100%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	5	3.1	60	4	2.6	53	5	3.5	56	0	0%	0.4	14%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	6	3.7	47	8	5.1	51	7	4.9	47	1	17%	1.2	33%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	17	10.4	45	19	12.2	45	20	14.0	45	3	18%	3.6	34%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	3	2.1	50	3		2.1	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	7	4.3	47	8	5.1	47	3	2.1	36	-4	-57%	-2.2	-51%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	10	6.1	44	13	8.3	47	9	6.3	40	-1	-10%	0.2	3%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	12	7.3	51	9	5.8	46	10	7.0	49	-2	-17%	-0.4	-5%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	1.8	40	6	3.8	46	5	3.5	42	2	67%	1.7	90%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	12	7.3	44	13	8.3	48	12	8.4	46	0	0%	1.0	14%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.6	49	3	1.9	54	2	1.4	46	1	100%	0.8	128%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	1.8	45	6	3.8	50	4	2.8	44	1	33%	1.0	52%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	3.1	47	5	3.2	45	7	4.9	45	2	40%	1.8	60%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	0.7	41	1		0.7	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				13	8.3	47	17	11.9	49	17	31%	3.6	43%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	5	3.1	47	3	1.9	44	2	1.4	40	-3	-60%	-1.7	-54%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

岩国医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は29,425人(-21%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は37人(-13%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は221人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は10%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

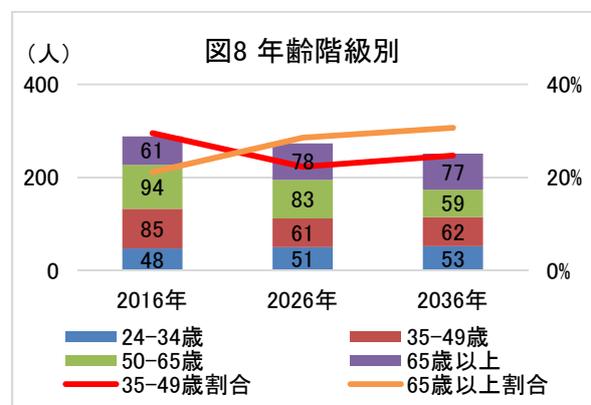
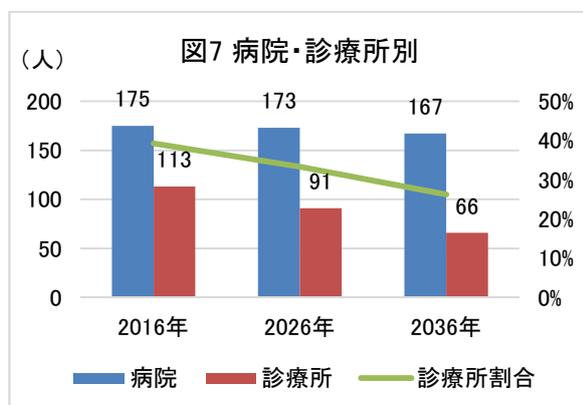
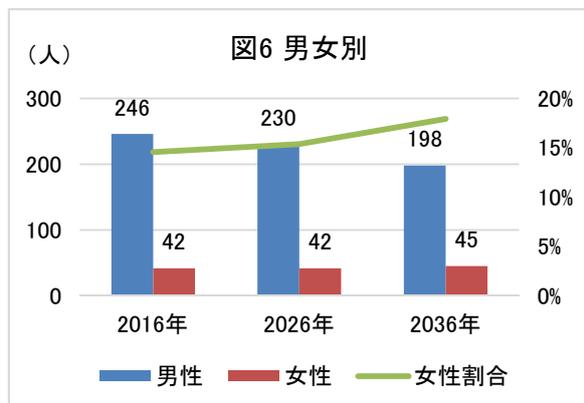
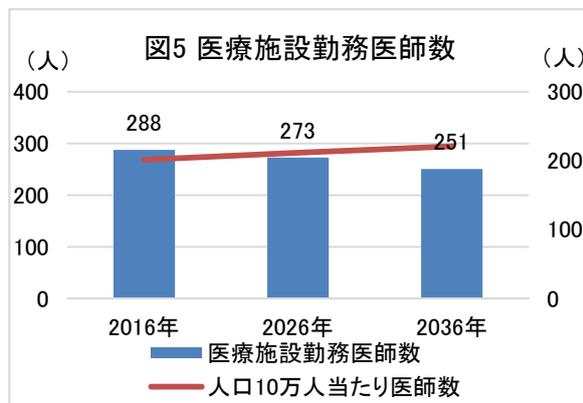
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて48人(-20%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(7%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は18%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて8人(-5%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に47人(-42%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は23人(-27%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて16人(26%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年31%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



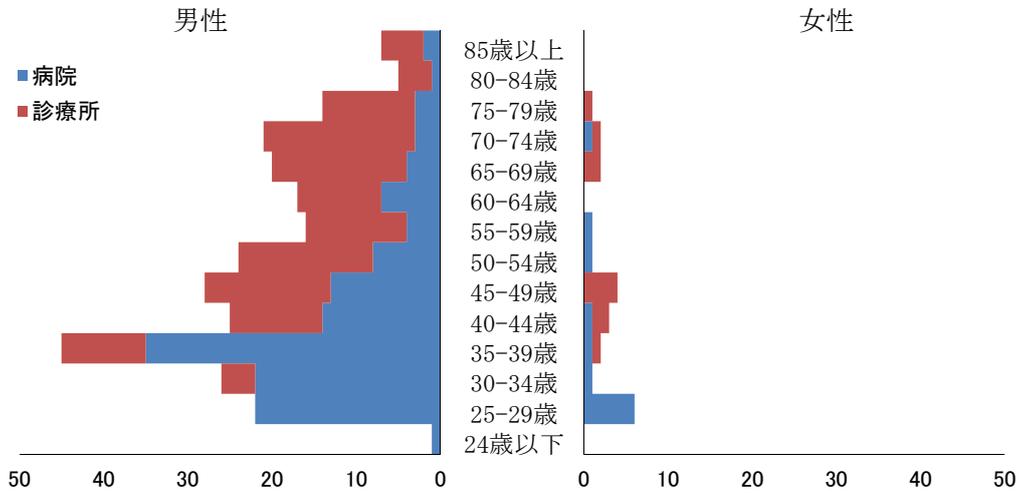
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岩国医療圏

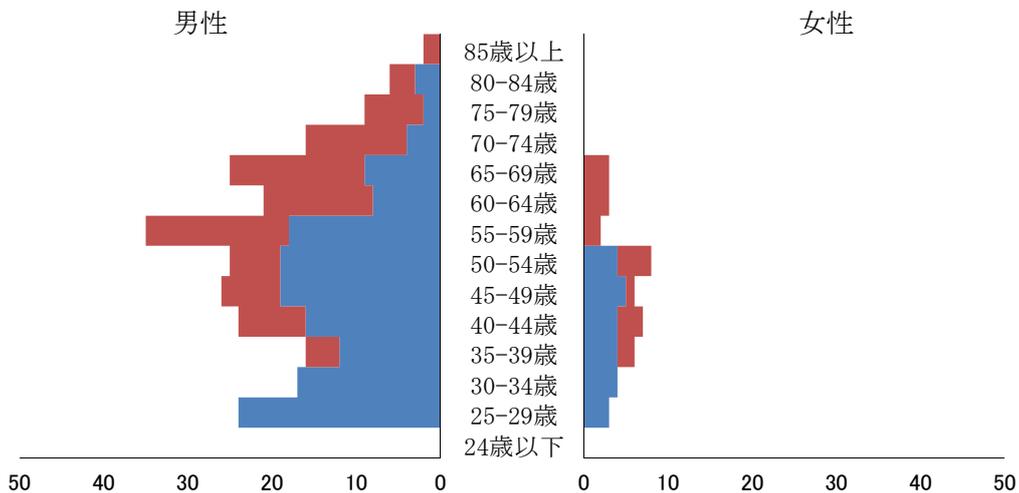
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

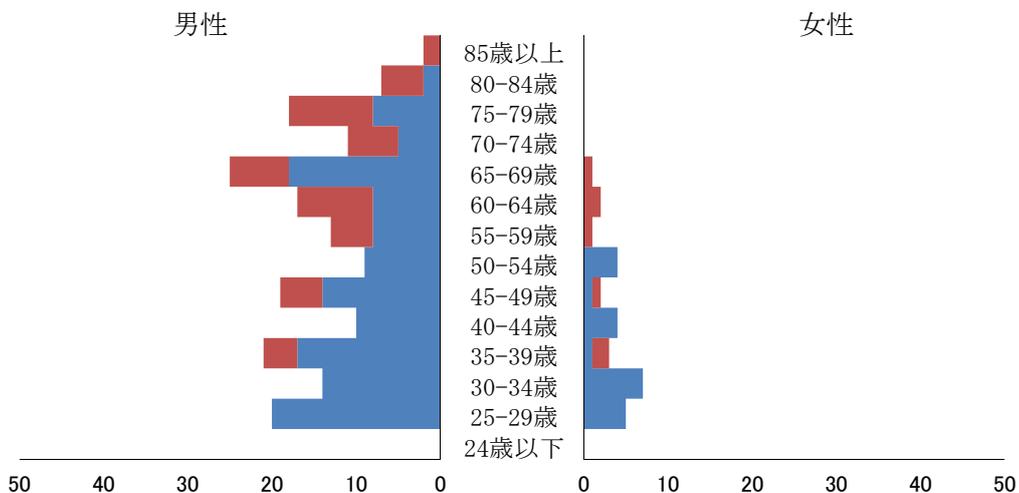
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岩国医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	143,042	128,851	113,617	-29,425	-21%	-14,191	-10%	-15,234	-12%	
医療施設勤務医師数	288	273	251	-37	-13%	-15	-5%	-22	-8%	
人口10万対	201.3	211.9	220.9	19.6	10%	10.5	5%	9.0	4%	
男性医師数	246	230	198	-48	-20%	-16	-7%	-32	-14%	
人口10万対	172.0	178.5	174.3	2.3	1%	6.5	4%	-4.2	-2%	
女性医師数	42	42	45	3	7%	0	0%	3	7%	
人口10万対	29.4	32.6	39.6	10.2	35%	3.2	11%	7.0	22%	
病院勤務医師数	175	173	167	-8	-5%	-2	-1%	-6	-3%	
人口10万対	122.3	134.3	147.0	24.6	20%	11.9	10%	12.7	9%	
診療所勤務医師数	113	91	66	-47	-42%	-22	-19%	-25	-27%	
人口10万対	79.0	70.6	58.1	-20.9	-26%	-8.4	-11%	-12.5	-18%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	48	51	53	5	10%	3	6%	2	4%
	35-49歳	85	61	62	-23	-27%	-24	-28%	1	2%
	50-64歳	94	83	59	-35	-37%	-11	-12%	-24	-29%
	65歳以上	61	78	77	16	26%	17	28%	-1	-1%
	75歳以上(再掲)	17	21	29	12	71%	4	24%	8	38%
男性	24-34歳	41	43	34	-7	-17%	2	5%	-9	-21%
	35-49歳	66	48	54	-12	-18%	-18	-27%	6	13%
	50-64歳	81	64	43	-38	-47%	-17	-21%	-21	-33%
	65歳以上	58	75	67	9	16%	17	29%	-8	-11%
	75歳以上(再掲)	17	22	28	11	65%	5	29%	6	27%
女性	24-34歳	7	7	11	4	57%	0	0%	4	57%
	35-49歳	19	14	11	-8	-42%	-5	-26%	-3	-21%
	50-64歳	13	19	17	4	31%	6	46%	-2	-11%
	65歳以上	3	2	6	3	100%	-1	-33%	4	200%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	48	51	53	5	10%	3	6%	2	4%
	35-49歳	60	43	44	-16	-27%	-17	-28%	1	2%
	50-64歳	49	47	33	-16	-33%	-2	-4%	-14	-30%
	65歳以上	18	32	37	19	106%	14	78%	5	16%
	75歳以上(再掲)	5	5	10	5	100%	0	0%	5	100%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	25	12	13	-12	-48%	-13	-52%	1	8%
	50-64歳	45	30	18	-27	-60%	-15	-33%	-12	-40%
	65歳以上	43	49	35	-8	-19%	6	14%	-14	-29%
	75歳以上(再掲)	12	16	18	6	50%	4	33%	2	13%
	85歳以上(再掲)	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

柳井医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は18,362人(-18%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は7人(-4%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は200人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は18%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

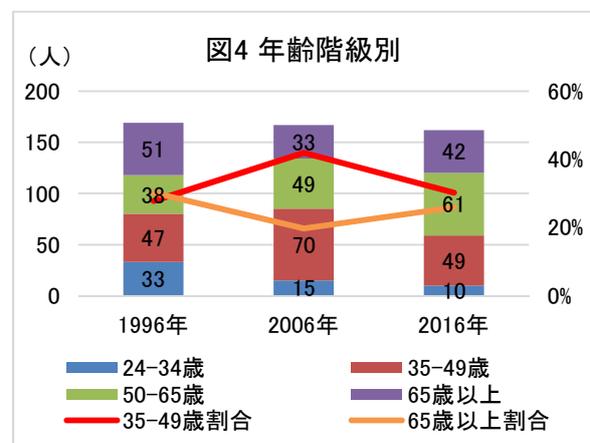
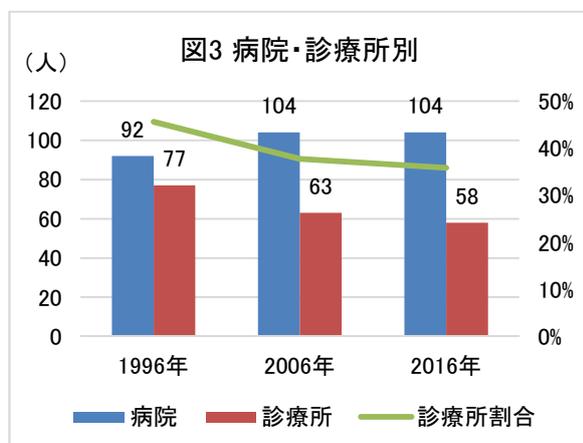
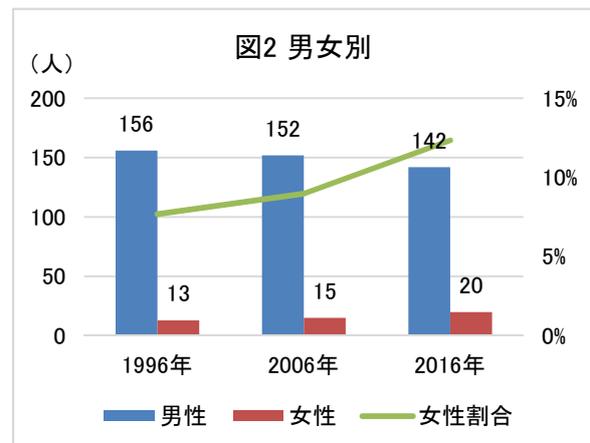
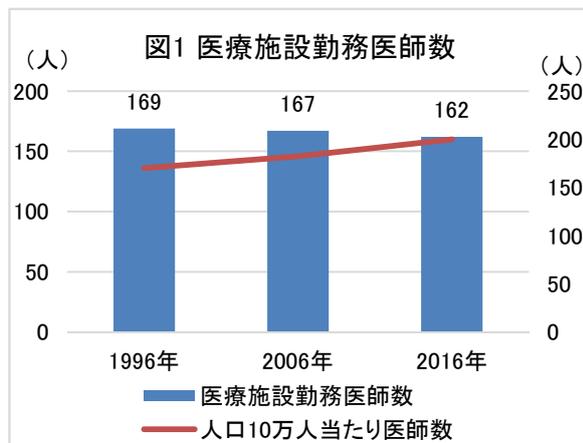
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて14人(-9%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に7人(54%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて12人(13%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に19人(-25%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は36%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は2人(4%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて9人(-18%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年30%、2016年26%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

柳井医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	99,424	91,515	81,062	-18,362	-18%	-7,909	-8%	-10,453	-11%	
総医師数	175	181	173	-2	-1%	6	3%	-8	-4%	
人口10万対	176.0	197.8	213.4	37.4	21%	21.8	12%	15.6	8%	
医療施設勤務医師数	169	167	162	-7	-4%	-2	-1%	-5	-3%	
人口10万対	170.0	182.5	199.8	29.9	18%	12.5	7%	17.4	10%	
男性医師数	156	152	142	-14	-9%	-4	-3%	-10	-7%	
人口10万対	156.9	166.1	175.2	18.3	12%	9.2	6%	9.1	5%	
女性医師数	13	15	20	7	54%	2	15%	5	33%	
人口10万対	13.1	16.4	24.7	11.6	89%	3.3	25%	8.3	51%	
病院勤務医師数	92	104	104	12	13%	12	13%	0	0%	
人口10万対	92.5	113.6	128.3	35.8	39%	21.1	23%	14.7	13%	
診療所勤務医師数	77	63	58	-19	-25%	-14	-18%	-5	-8%	
人口10万対	77.4	68.8	71.6	-5.9	-8%	-8.6	-11%	2.7	4%	
医療施設勤務医 平均年齢	53.3	52.2	55.6	2.3	4%	-1.1	-2%	3.4	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	33	15	10	-23	-70%	-18	-55%	-5	-33%
	35-49歳	47	70	49	2	4%	23	49%	-21	-30%
	50-64歳	38	49	61	23	61%	11	29%	12	24%
	65歳以上	51	33	42	-9	-18%	-18	-35%	9	27%
	75歳以上(再掲)	21	18	14	-7	-33%	-3	-14%	-4	-22%
男性	24-34歳	30	12	7	-23	-77%	-18	-60%	-5	-42%
	35-49歳	45	64	39	-6	-13%	19	42%	-25	-39%
	50-64歳	36	44	58	22	61%	8	22%	14	32%
	65歳以上	45	32	38	-7	-16%	-13	-29%	6	19%
	75歳以上(再掲)	16	18	13	-3	-19%	2	13%	-5	-28%
女性	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	2	6	10	8	400%	4	200%	4	67%
	50-64歳	2	5	3	1	50%	3	150%	-2	-40%
	65歳以上	6	1	4	-2	-33%	-5	-83%	3	300%
	75歳以上(再掲)	5	0	1	-4	-80%	-5	-100%	1	
病院	24-34歳	29	11	9	-20	-69%	-18	-62%	-2	-18%
	35-49歳	34	55	37	3	9%	21	62%	-18	-33%
	50-64歳	16	19	36	20	125%	3	19%	17	89%
	65歳以上	13	19	22	9	69%	6	46%	3	16%
	75歳以上(再掲)	1	10	9	8	800%	9	900%	-1	-10%
診療所	24-34歳	4	4	1	-3	-75%	0	0%	-3	-75%
	35-49歳	13	15	12	-1	-8%	2	15%	-3	-20%
	50-64歳	22	30	25	3	14%	8	36%	-5	-17%
	65歳以上	38	14	20	-18	-47%	-24	-63%	6	43%
	75歳以上(再掲)	20	8	5	-15	-75%	-12	-60%	-3	-38%
	85歳以上(再掲)	5	0	1	-4	-80%	-5	-100%	1	

柳井医療圏

＜医師数の推移＞

柳井医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、脳神経外科であり、少ない診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	169	170.0	48	167	182.5	47	162	199.8	46	-7	-4%	29.9	18%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	75	75.4	50	78	85.2	52	81	99.9	53	6	8%	24.5	32%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	5	5.0	37	6	6.6	39	5	6.2	37	0	0%	1.1	23%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	6	6.0	45	11	12.0	55	8	9.9	46	2	33%	3.8	64%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	27	27.2	57	27	29.5	66	26	32.1	68	-1	-4%	4.9	18%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	6	6.0	56	6	6.6	57	6	7.4	56	0	0%	1.4	23%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	8	8.0	40	11	12.0	44	11	13.6	44	3	38%	5.5	69%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	4.0	46	4	4.4	45	3	3.7	40	-1	-25%	-0.3	-8%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	10	10.1	53	6	6.6	42	6	7.4	43	-4	-40%	-2.7	-26%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	5.0	44	3	3.3	38	2	2.5	35	-3	-60%	-2.6	-51%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	3.0	45	5	5.5	53	4	4.9	48	1	33%	1.9	64%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	9.1	48	4	4.4	38	3	3.7	36	-6	-67%	-5.4	-59%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	1.0	54	0	0.0	38	1	1.2	45	0	0%	0.2	23%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	3.0	49	2	2.2	45	2	2.5	43	-1	-33%	-0.6	-18%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	2.0	44	2	2.2	42	3	3.7	42	1	50%	1.7	84%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	2.2	39	0	0.0	36	0	-100%	-2.2	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	5	5.0	51	0	0.0	40	1	1.2	39	-4	-80%	-3.8	-75%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

柳井医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は20,866人(-26%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は8人(-5%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は256人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

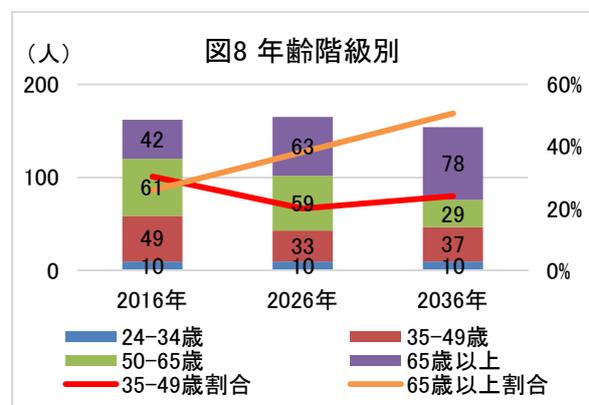
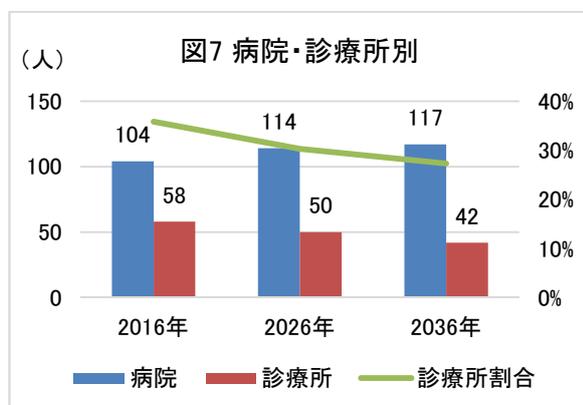
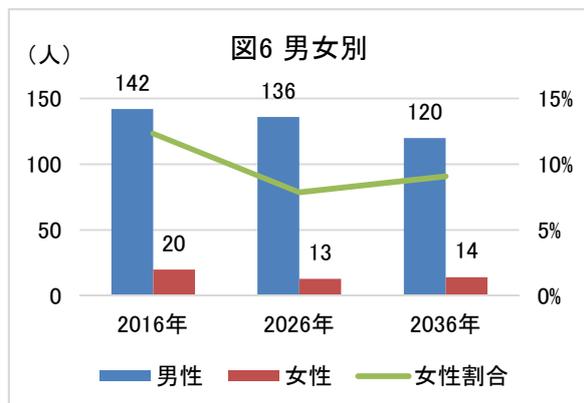
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて22人(-15%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(-30%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は9%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて13人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に16人(-28%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は27%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は12人(-24%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて36人(86%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年26%、2036年51%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



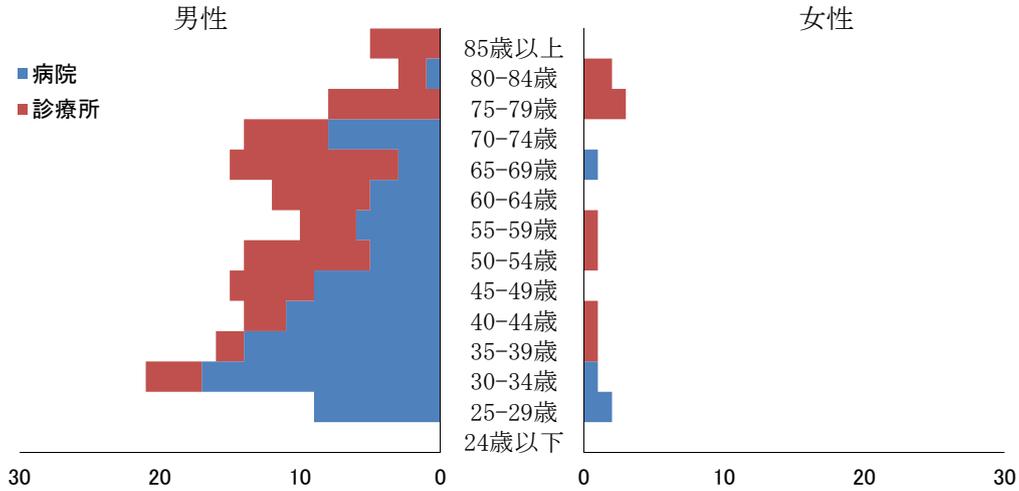
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

柳井医療圏

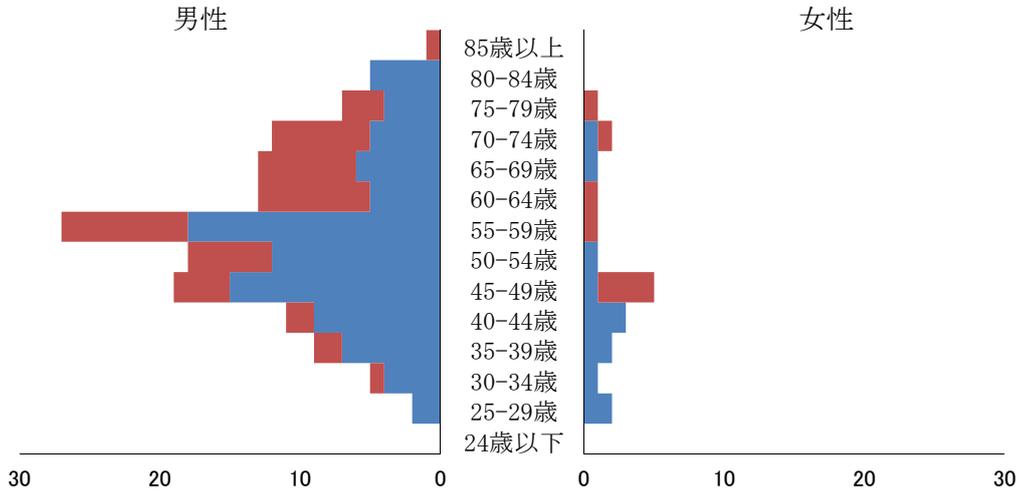
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

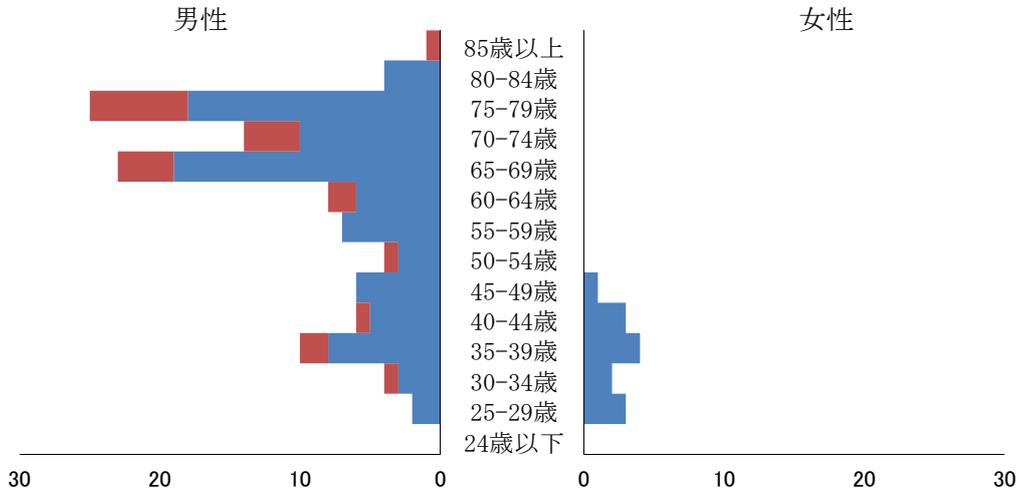
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

柳井医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	81,062	70,455	60,196	-20,866	-26%	-10,607	-13%	-10,259	-15%	
医療施設勤務医師数	162	165	154	-8	-5%	3	2%	-11	-7%	
人口10万対	199.8	234.2	255.8	56.0	28%	34.3	17%	21.6	9%	
男性医師数	142	136	120	-22	-15%	-6	-4%	-16	-12%	
人口10万対	175.2	193.0	199.3	24.2	14%	17.9	10%	6.3	3%	
女性医師数	20	13	14	-6	-30%	-7	-35%	1	8%	
人口10万対	24.7	18.5	23.3	-1.4	-6%	-6.2	-25%	4.8	26%	
病院勤務医師数	104	114	117	13	13%	10	10%	3	3%	
人口10万対	128.3	161.8	194.4	66.1	51%	33.5	26%	32.6	20%	
診療所勤務医師数	58	50	42	-16	-28%	-8	-14%	-8	-16%	
人口10万対	71.6	71.0	69.8	-1.8	-2%	-0.6	-1%	-1.2	-2%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	10	10	10	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	49	33	37	-12	-24%	-16	-33%	4	12%
	50-64歳	61	59	29	-32	-52%	-2	-3%	-30	-51%
	65歳以上	42	63	78	36	86%	21	50%	15	24%
	75歳以上(再掲)	14	25	35	21	150%	11	79%	10	40%
男性	24-34歳	7	7	6	-1	-14%	0	0%	-1	-14%
	35-49歳	39	24	25	-14	-36%	-15	-38%	1	4%
	50-64歳	58	49	24	-34	-59%	-9	-16%	-25	-51%
	65歳以上	38	56	65	27	71%	18	47%	9	16%
	75歳以上(再掲)	13	23	31	18	138%	10	77%	8	35%
女性	24-34歳	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
	35-49歳	10	8	9	-1	-10%	-2	-20%	1	13%
	50-64歳	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	65歳以上	4	2	0	-4	-100%	-2	-50%	-2	-100%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
病院	24-34歳	9	9	9	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	37	27	30	-7	-19%	-10	-27%	3	11%
	50-64歳	36	40	20	-16	-44%	4	11%	-20	-50%
	65歳以上	22	38	58	36	164%	16	73%	20	53%
	75歳以上(再掲)	9	13	25	16	178%	4	44%	12	92%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	12	8	8	-4	-33%	-4	-33%	0	0%
	50-64歳	25	18	11	-14	-56%	-7	-28%	-7	-39%
	65歳以上	20	23	22	2	10%	3	15%	-1	-4%
	75歳以上(再掲)	5	8	9	4	80%	3	60%	1	13%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

周南医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は18,418人(-7%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は93人(23%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は197人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

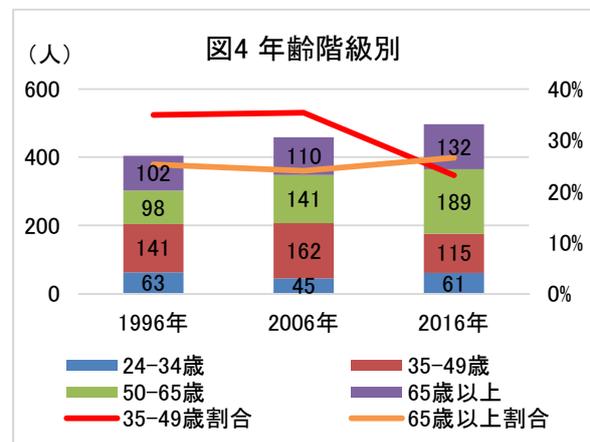
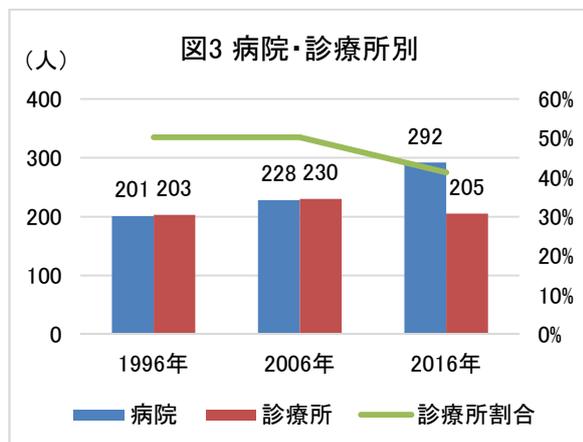
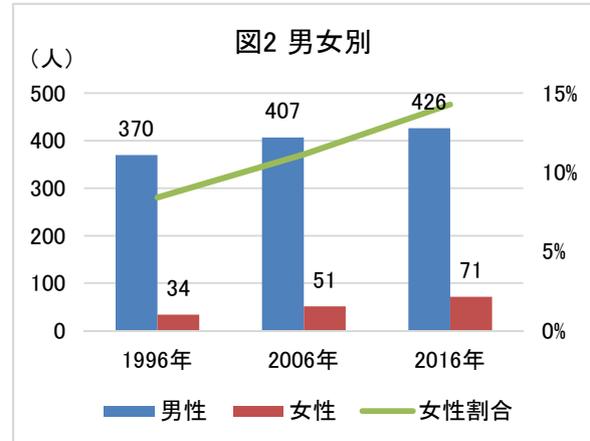
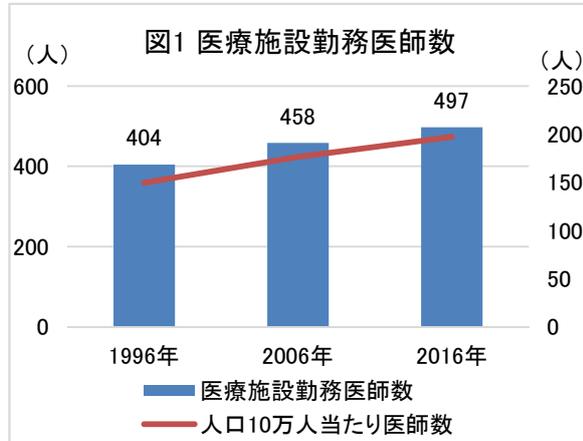
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて56人(15%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に37人(109%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて91人(45%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(1%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は41%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は26人(-18%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて30人(29%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年25%、2016年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

周南医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	270,441	259,867	252,023	-18,418	-7%	-10,574	-4%	-7,844	-3%	
総医師数	409	465	519	110	27%	56	14%	54	12%	
人口10万対	151.2	178.9	205.9	54.7	36%	27.7	18%	27.0	15%	
医療施設勤務医師数	404	458	497	93	23%	54	13%	39	9%	
人口10万対	149.4	176.2	197.2	47.8	32%	26.9	18%	21.0	12%	
男性医師数	370	407	426	56	15%	37	10%	19	5%	
人口10万対	136.8	156.6	169.0	32.2	24%	19.8	14%	12.4	8%	
女性医師数	34	51	71	37	109%	17	50%	20	39%	
人口10万対	12.6	19.6	28.2	15.6	124%	7.1	56%	8.5	44%	
病院勤務医師数	201	228	292	91	45%	27	13%	64	28%	
人口10万対	74.3	87.7	115.9	41.5	56%	13.4	18%	28.1	32%	
診療所勤務医師数	203	230	205	2	1%	27	13%	-25	-11%	
人口10万対	75.1	88.5	81.3	6.3	8%	13.4	18%	-7.2	-8%	
医療施設勤務医 平均年齢	52.0	53.3	55.2	3.2	6%	1.3	2%	1.9	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	63	45	61	-2	-3%	-18	-29%	16	36%
	35-49歳	141	162	115	-26	-18%	21	15%	-47	-29%
	50-64歳	98	141	189	91	93%	43	44%	48	34%
	65歳以上	102	110	132	30	29%	8	8%	22	20%
	75歳以上(再掲)	32	41	62	30	94%	9	28%	21	51%
男性	24-34歳	51	34	45	-6	-12%	-17	-33%	11	32%
	35-49歳	127	138	86	-41	-32%	11	9%	-52	-38%
	50-64歳	93	127	171	78	84%	34	37%	44	35%
	65歳以上	99	108	124	25	25%	9	9%	16	15%
	75歳以上(再掲)	31	40	61	30	97%	9	29%	21	53%
女性	24-34歳	12	11	16	4	33%	-1	-8%	5	45%
	35-49歳	14	24	29	15	107%	10	71%	5	21%
	50-64歳	5	14	18	13	260%	9	180%	4	29%
	65歳以上	3	2	8	5	167%	-1	-33%	6	300%
	75歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
病院	24-34歳	57	41	60	3	5%	-16	-28%	19	46%
	35-49歳	86	94	81	-5	-6%	8	9%	-13	-14%
	50-64歳	37	56	91	54	146%	19	51%	35	63%
	65歳以上	21	37	60	39	186%	16	76%	23	62%
	75歳以上(再掲)	6	11	31	25	417%	5	83%	20	182%
診療所	24-34歳	6	4	1	-5	-83%	-2	-33%	-3	-75%
	35-49歳	55	68	34	-21	-38%	13	24%	-34	-50%
	50-64歳	61	85	98	37	61%	24	39%	13	15%
	65歳以上	81	73	72	-9	-11%	-8	-10%	-1	-1%
	75歳以上(再掲)	26	30	31	5	19%	4	15%	1	3%
	85歳以上(再掲)	5	6	9	4	80%	1	20%	3	50%

周南医療圏

<医師数の推移>

周南医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、麻酔科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、整形外科、形成外科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	404	149.4	46	458	176.2	46	497	197.2	45	93	23%	47.8	32%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	168	62.1	46	175	67.3	46	177	70.2	44	9	5%	8.1	13%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	26	9.6	47	31	11.9	51	32	12.7	49	6	23%	3.1	32%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	12	4.4	41	19	7.3	45	27	10.7	47	15	125%	6.3	141%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	52	19.2	48	43	16.5	48	40	15.9	46	-12	-23%	-3.4	-17%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	0.7	44	3	1.2	45	3	1.2	43	1	50%	0.5	61%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	9	3.3	45	13	5.0	51	14	5.6	49	5	56%	2.2	67%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	33	12.2	48	43	16.5	54	32	12.7	42	-1	-3%	0.5	4%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.7	47	2	0.8	45	1	0.4	39	-1	-50%	-0.3	-46%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	8	3.0	43	20	7.7	55	17	6.7	49	9	113%	3.8	128%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	18	6.7	46	22	8.5	47	22	8.7	46	4	22%	2.1	31%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	15	5.5	46	14	5.4	45	17	6.7	48	2	13%	1.2	22%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	10	3.7	48	16	6.2	56	16	6.3	53	6	60%	2.7	72%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	24	8.9	48	21	8.1	47	26	10.3	50	2	8%	1.4	16%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.4	45	1	0.4	41	7	2.8	55	6	600%	2.4	651%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	8	3.0	49	10	3.8	50	11	4.4	48	3	38%	1.4	48%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	12	4.4	51	9	3.5	46	12	4.8	45	0	0%	0.3	7%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.4	43	4	1.6	45	3	300%	1.2	312%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				12	4.6	42	32	12.7	50	32	167%	8.1	175%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	4	1.5	43	3	1.2	42	7	2.8	42	3	75%	1.3	88%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

周南医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は39,167人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は23人(5%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は244人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

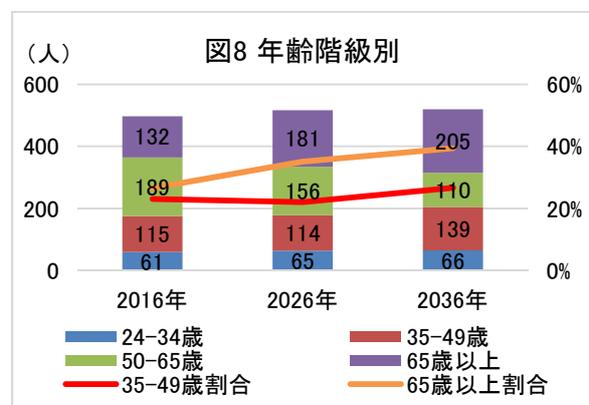
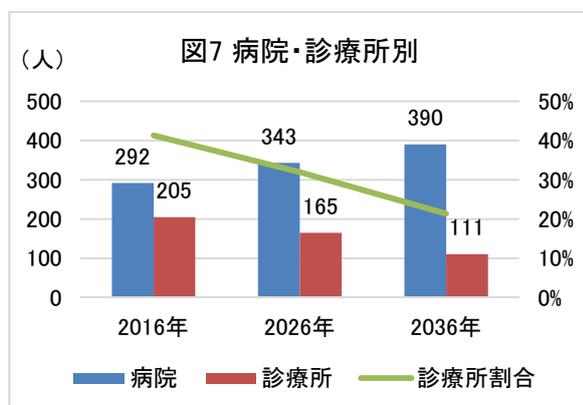
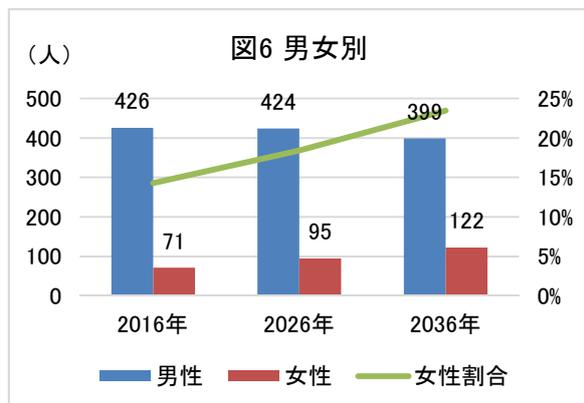
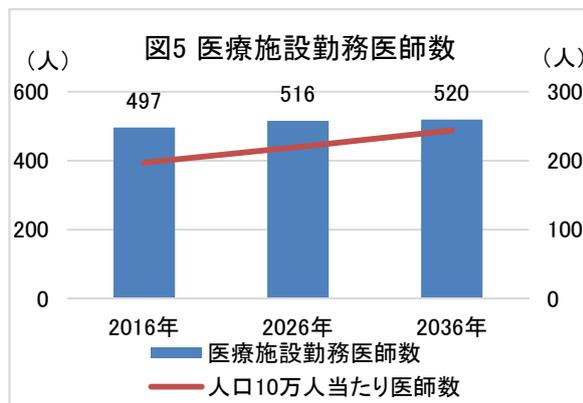
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて27人(-6%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に51人(72%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は23%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて98人(34%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に94人(-46%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は21%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は24人(21%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて73人(55%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年39%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



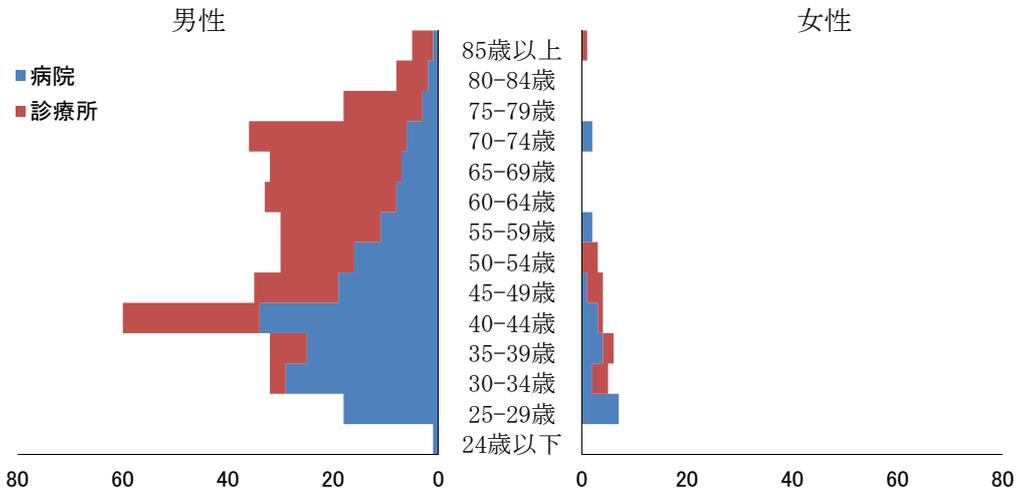
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

周南医療圏

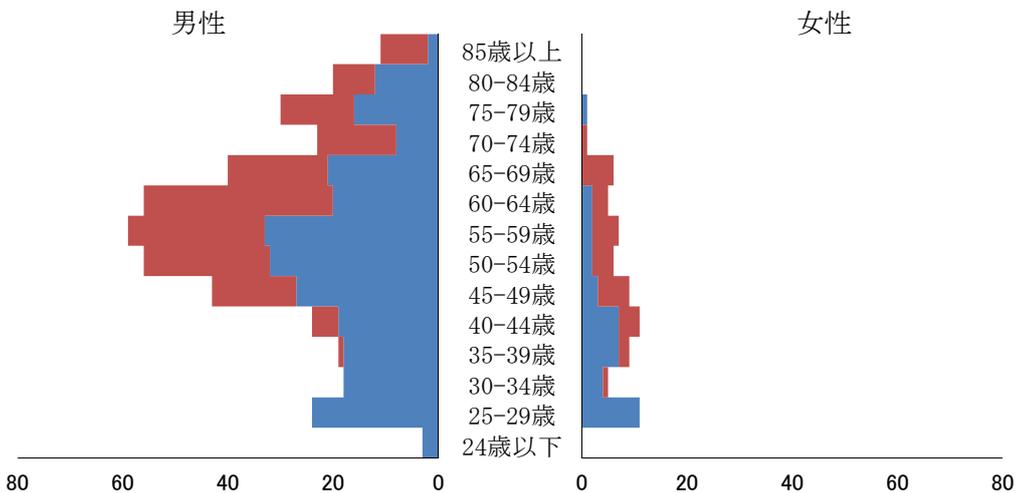
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

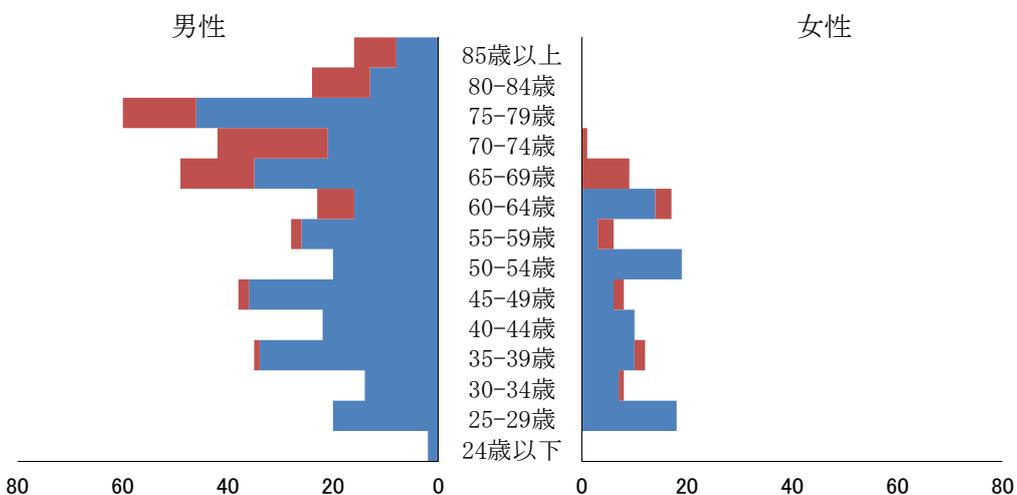
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

周南医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	252,023	234,369	212,856	-39,167	-16%	-17,654	-7%	-21,513	-9%	
医療施設勤務医師数	497	516	520	23	5%	19	4%	4	1%	
人口10万対	197.2	220.2	244.3	47.1	24%	23.0	12%	24.1	11%	
男性医師数	426	424	399	-27	-6%	-2	0%	-25	-6%	
人口10万対	169.0	180.9	187.5	18.4	11%	11.9	7%	6.5	4%	
女性医師数	71	95	122	51	72%	24	34%	27	28%	
人口10万対	28.2	40.5	57.3	29.1	103%	12.4	44%	16.8	41%	
病院勤務医師数	292	343	390	98	34%	51	17%	47	14%	
人口10万対	115.9	146.4	183.2	67.4	58%	30.5	26%	36.9	25%	
診療所勤務医師数	205	165	111	-94	-46%	-40	-20%	-54	-33%	
人口10万対	81.3	70.4	52.1	-29.2	-36%	-10.9	-13%	-18.3	-26%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	61	65	66	5	8%	4	7%	1	2%
	35-49歳	115	114	139	24	21%	-1	-1%	25	22%
	50-64歳	189	156	110	-79	-42%	-33	-17%	-46	-29%
	65歳以上	132	181	205	73	55%	49	37%	24	13%
	75歳以上(再掲)	62	72	102	40	65%	10	16%	30	42%
男性	24-34歳	45	47	37	-8	-18%	2	4%	-10	-21%
	35-49歳	86	81	102	16	19%	-5	-6%	21	26%
	50-64歳	171	130	76	-95	-56%	-41	-24%	-54	-42%
	65歳以上	124	166	184	60	48%	42	34%	18	11%
	75歳以上(再掲)	61	66	94	33	54%	5	8%	28	42%
女性	24-34歳	16	17	26	10	63%	1	6%	9	53%
	35-49歳	29	37	42	13	45%	8	28%	5	14%
	50-64歳	18	26	36	18	100%	8	44%	10	38%
	65歳以上	8	15	18	10	125%	7	88%	3	20%
	75歳以上(再掲)	1	6	7	6	600%	5	500%	1	17%
病院	24-34歳	60	64	65	5	8%	4	7%	1	2%
	35-49歳	81	97	117	36	44%	16	20%	20	21%
	50-64歳	91	91	82	-9	-10%	0	0%	-9	-10%
	65歳以上	60	91	126	66	110%	31	52%	35	38%
	75歳以上(再掲)	31	40	68	37	119%	9	29%	28	70%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	34	9	9	-25	-74%	-25	-74%	0	0%
	50-64歳	98	65	19	-79	-81%	-33	-34%	-46	-71%
	65歳以上	72	90	82	10	14%	18	25%	-8	-9%
	75歳以上(再掲)	31	31	38	7	23%	0	0%	7	23%
	85歳以上(再掲)	9	9	9	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山口・防府医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は1,389人（0%）増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は104人（18%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は213人であり、全国平均（240人）と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は18%増え、その伸び率は全国平均（31%）を下回る。

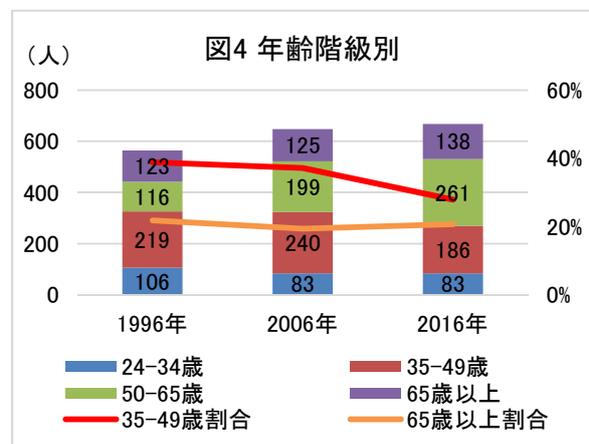
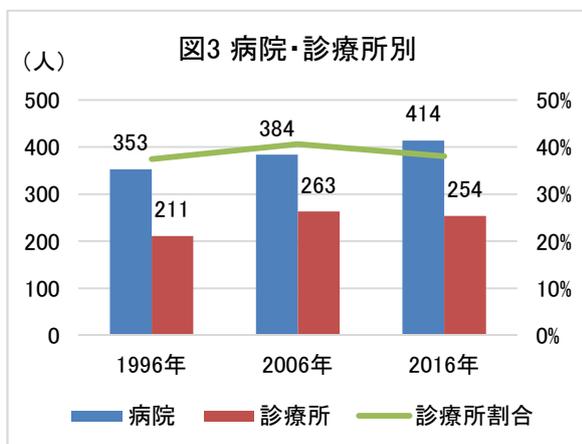
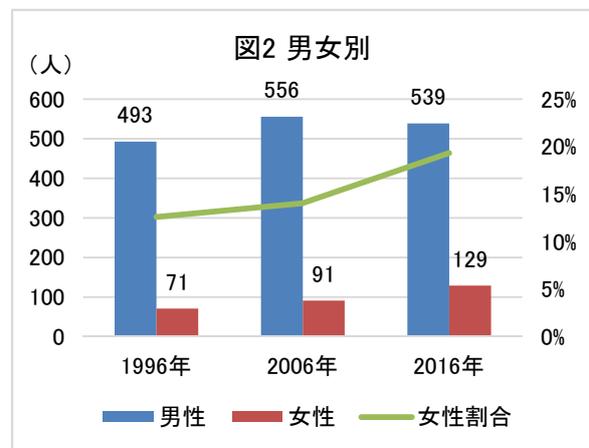
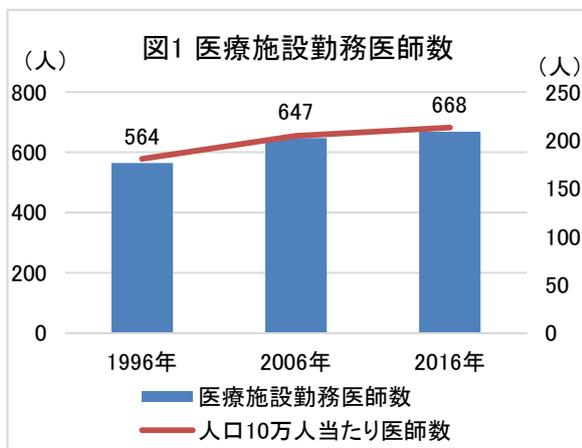
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて46人（9%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。女性医師は、同期間に58人（82%）増え、全国平均（111%）を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は19%と、全国平均（21%）を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて61人（17%）増え、全国平均（37%）を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に43人（20%）増え、全国平均（25%）を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均（34%）を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は33人（-15%）減り、全国平均（11%）を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて15人（12%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年21%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

山口・防府医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	311,975	316,115	313,364	1,389	0%	4,140	1%	-2,751	-1%	
総医師数	588	705	719	131	22%	117	20%	14	2%	
人口10万対	188.5	223.0	229.4	41.0	22%	34.5	18%	6.4	3%	
医療施設勤務医師数	564	647	668	104	18%	83	15%	21	3%	
人口10万対	180.8	204.7	213.2	32.4	18%	23.9	13%	8.5	4%	
男性医師数	493	556	539	46	9%	63	13%	-17	-3%	
人口10万対	158.0	175.9	172.0	14.0	9%	17.9	11%	-3.9	-2%	
女性医師数	71	91	129	58	82%	20	28%	38	42%	
人口10万対	22.8	28.8	41.2	18.4	81%	6.0	26%	12.4	43%	
病院勤務医師数	353	384	414	61	17%	31	9%	30	8%	
人口10万対	113.2	121.5	132.1	19.0	17%	8.3	7%	10.6	9%	
診療所勤務医師数	211	263	254	43	20%	52	25%	-9	-3%	
人口10万対	67.6	83.2	81.1	13.4	20%	15.6	23%	-2.1	-3%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.7	51.6	53.3	3.7	7%	2.0	4%	1.7	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	106	83	83	-23	-22%	-23	-22%	0	0%
	35-49歳	219	240	186	-33	-15%	21	10%	-54	-23%
	50-64歳	116	199	261	145	125%	83	72%	62	31%
	65歳以上	123	125	138	15	12%	2	2%	13	10%
	75歳以上(再掲)	39	64	46	7	18%	25	64%	-18	-28%
男性	24-34歳	86	69	53	-33	-38%	-17	-20%	-16	-23%
	35-49歳	184	194	138	-46	-25%	10	5%	-56	-29%
	50-64歳	105	174	221	116	110%	69	66%	47	27%
	65歳以上	118	119	127	9	8%	1	1%	8	7%
	75歳以上(再掲)	34	62	45	11	32%	28	82%	-17	-27%
女性	24-34歳	20	14	30	10	50%	-6	-30%	16	114%
	35-49歳	35	46	48	13	37%	11	31%	2	4%
	50-64歳	11	25	40	29	264%	14	127%	15	60%
	65歳以上	5	6	11	6	120%	1	20%	5	83%
	75歳以上(再掲)	5	2	1	-4	-80%	-3	-60%	-1	-50%
病院	24-34歳	101	81	79	-22	-22%	-20	-20%	-2	-2%
	35-49歳	159	168	143	-16	-10%	9	6%	-25	-15%
	50-64歳	54	89	136	82	152%	35	65%	47	53%
	65歳以上	39	46	56	17	44%	7	18%	10	22%
	75歳以上(再掲)	14	20	20	6	43%	6	43%	0	0%
診療所	24-34歳	5	2	4	-1	-20%	-3	-60%	2	100%
	35-49歳	60	72	43	-17	-28%	12	20%	-29	-40%
	50-64歳	62	110	125	63	102%	48	77%	15	14%
	65歳以上	84	79	82	-2	-2%	-5	-6%	3	4%
	75歳以上(再掲)	25	44	26	1	4%	19	76%	-18	-41%
	85歳以上(再掲)	1	5	7	6	600%	4	400%	2	40%

山口・防府医療圏

＜医師数の推移＞

山口・防府医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、形成外科、泌尿器科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	564	180.8	50	647	204.7	50	668	213.2	47	104	18%	32.4	18%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	250	80.1	51	248	78.5	50	239	76.3	46	-11	-4%	-3.9	-5%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	29	9.3	46	39	12.3	52	36	11.5	47	7	24%	2.2	24%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	24	7.7	49	38	12.0	55	39	12.4	50	15	63%	4.8	62%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	61	19.6	49	61	19.3	52	66	21.1	53	5	8%	1.5	8%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	3	0.9	57	2	0.6	50	2		0.6	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	4	1.3	48	7	2.2	51	5	1.6	45	1	25%	0.3	24%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	15	4.8	51	16	5.1	51	21	6.7	53	6	40%	1.9	39%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	44	14.1	52	52	16.4	53	58	18.5	53	14	32%	4.4	31%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.6	47	5	1.6	51	6	1.9	49	4	200%	1.3	199%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	16	5.1	49	20	6.3	51	18	5.7	46	2	13%	0.6	12%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	22	7.1	46	27	8.5	47	26	8.3	45	4	18%	1.2	18%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	21	6.7	49	24	7.6	52	20	6.4	47	-1	-5%	-0.3	-5%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	12	3.8	49	15	4.7	50	18	5.7	51	6	50%	1.9	49%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	26	8.3	46	27	8.5	48	27	8.6	46	1	4%	0.3	3%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.3	41	5	1.6	48	5		1.6	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	13	4.2	53	13	4.1	51	14	4.5	48	1	8%	0.3	7%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	13	4.2	50	18	5.7	52	19	6.1	47	6	46%	1.9	46%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				2	0.6	45	4	1.3	44	2	100%	0.6	102%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				16	5.1	43	34	10.9	48	34	113%	5.8	114%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	12	3.8	49	15	4.7	49	11	3.5	43	-1	-8%	-0.3	-9%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

山口・防府医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は42,011人(-13%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は18人(-3%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は240人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は12%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

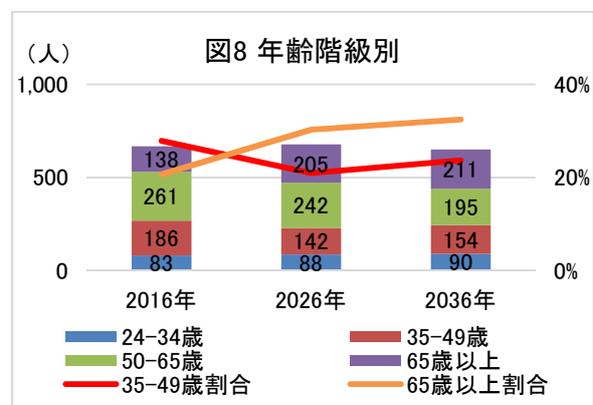
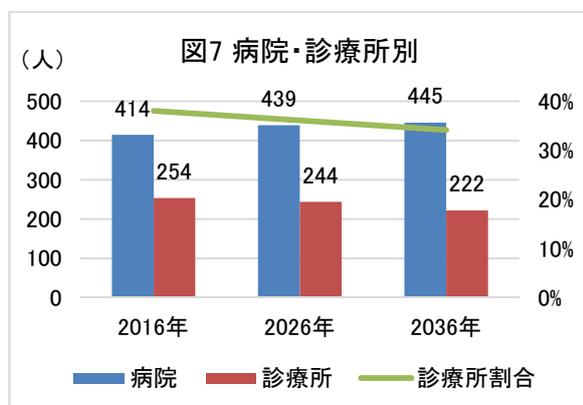
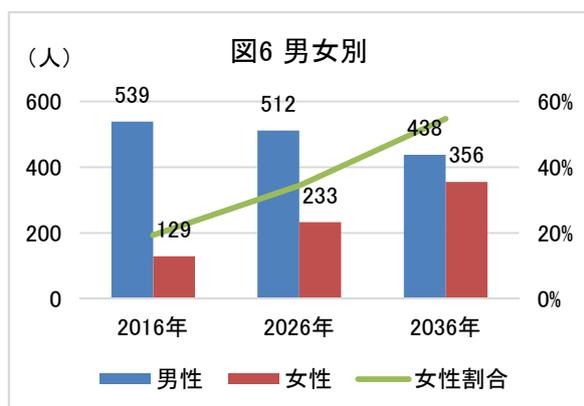
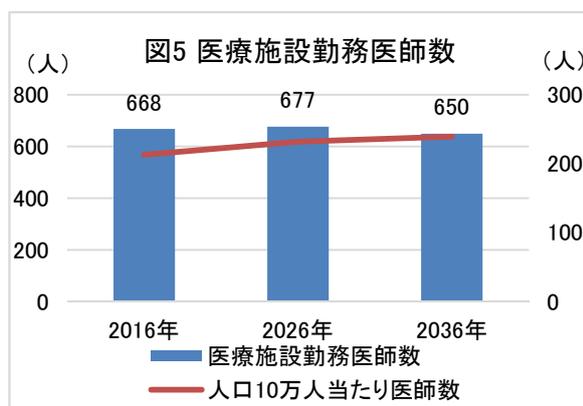
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて101人(-19%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に227人(176%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は55%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて31人(7%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に32人(-13%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は34%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は32人(-17%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて73人(53%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



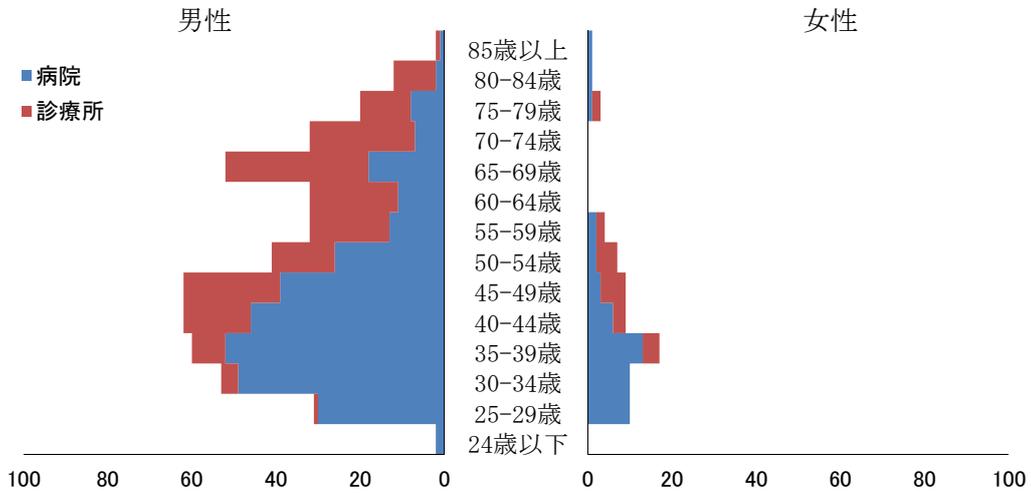
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山口・防府医療圏

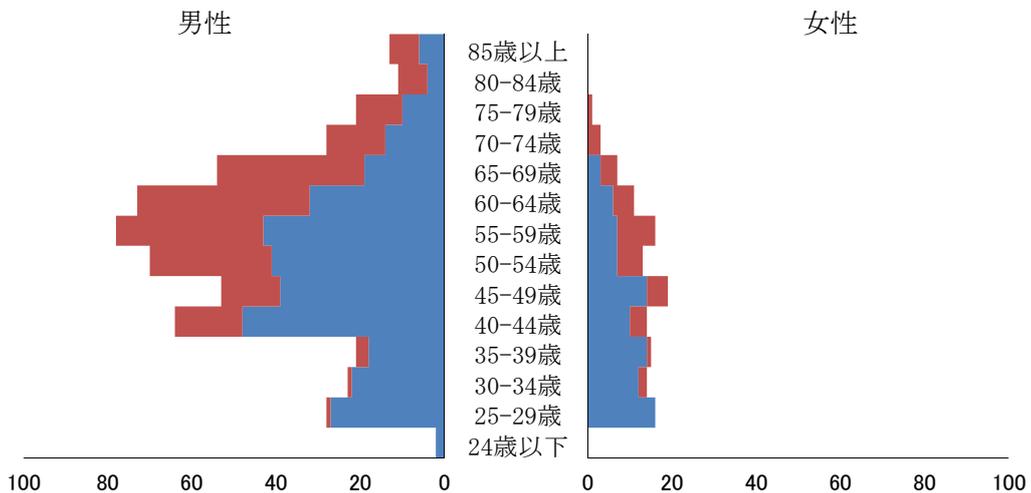
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

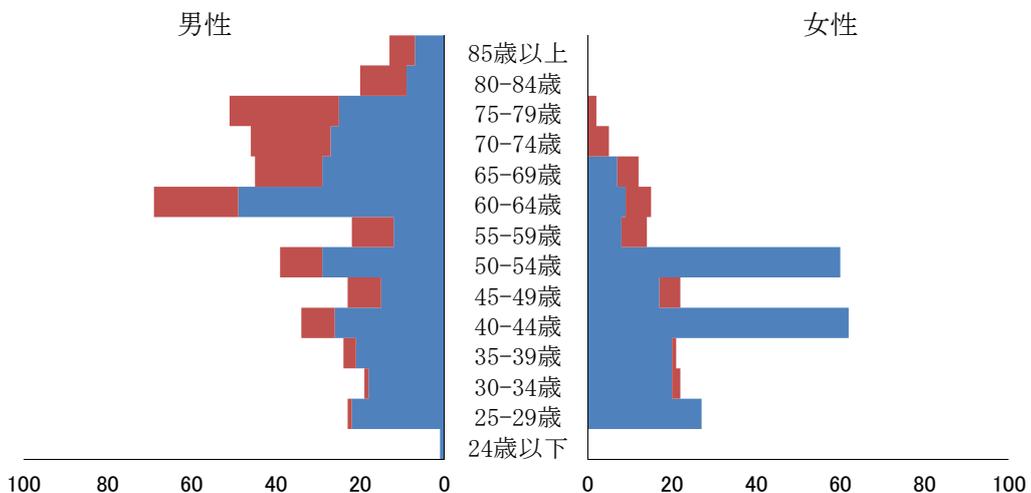
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山口・防府医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	313,364	291,887	271,353	-42,011	-13%	-21,477	-7%	-20,534	-7%	
医療施設勤務医師数	668	677	650	-18	-3%	9	1%	-27	-4%	
人口10万対	213.2	231.9	239.5	26.4	12%	18.8	9%	7.6	3%	
男性医師数	539	512	438	-101	-19%	-27	-5%	-74	-14%	
人口10万対	172.0	175.4	161.4	-10.6	-6%	3.4	2%	-14.0	-8%	
女性医師数	129	233	356	227	176%	104	81%	123	53%	
人口10万対	41.2	79.8	131.2	90.0	219%	38.7	94%	51.4	64%	
病院勤務医師数	414	439	445	31	7%	25	6%	6	1%	
人口10万対	132.1	150.4	164.0	31.9	24%	18.3	14%	13.6	9%	
診療所勤務医師数	254	244	222	-32	-13%	-10	-4%	-22	-9%	
人口10万対	81.1	83.6	81.8	0.8	1%	2.5	3%	-1.8	-2%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	83	88	90	7	8%	5	6%	2	2%
	35-49歳	186	142	154	-32	-17%	-44	-24%	12	8%
	50-64歳	261	242	195	-66	-25%	-19	-7%	-47	-19%
	65歳以上	138	205	211	73	53%	67	49%	6	3%
	75歳以上(再掲)	46	62	92	46	100%	16	35%	30	48%
男性	24-34歳	53	57	43	-10	-19%	4	8%	-14	-25%
	35-49歳	138	77	82	-56	-41%	-61	-44%	5	6%
	50-64歳	221	196	132	-89	-40%	-25	-11%	-64	-33%
	65歳以上	127	182	181	54	43%	55	43%	-1	-1%
	75歳以上(再掲)	45	59	85	40	89%	14	31%	26	44%
女性	24-34歳	30	31	49	19	63%	1	3%	18	58%
	35-49歳	48	136	146	98	204%	88	183%	10	7%
	50-64歳	40	45	137	97	243%	5	13%	92	204%
	65歳以上	11	21	24	13	118%	10	91%	3	14%
	75歳以上(再掲)	1	2	3	2	200%	1	100%	1	50%
病院	24-34歳	79	84	86	7	9%	5	6%	2	2%
	35-49歳	143	108	117	-26	-18%	-35	-24%	9	8%
	50-64歳	136	152	129	-7	-5%	16	12%	-23	-15%
	65歳以上	56	95	113	57	102%	39	70%	18	19%
	75歳以上(再掲)	20	26	45	25	125%	6	30%	19	73%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	43	47	48	5	12%	4	9%	1	2%
	50-64歳	125	84	77	-48	-38%	-41	-33%	-7	-8%
	65歳以上	82	109	93	11	13%	27	33%	-16	-15%
	75歳以上(再掲)	26	37	47	21	81%	11	42%	10	27%
	85歳以上(再掲)	7	4	6	-1	-14%	-3	-43%	2	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇部・小野田医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は25,653人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は24人(3%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は376人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は13%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

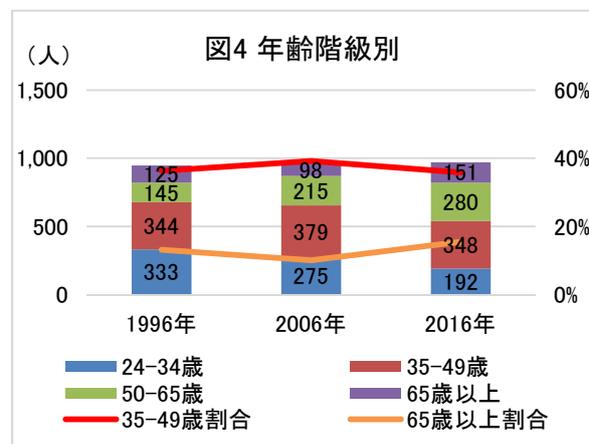
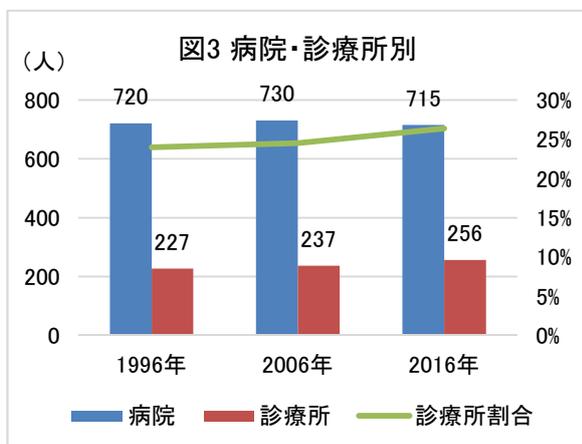
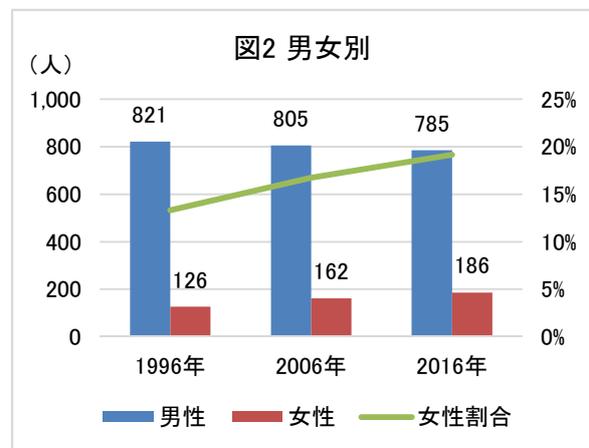
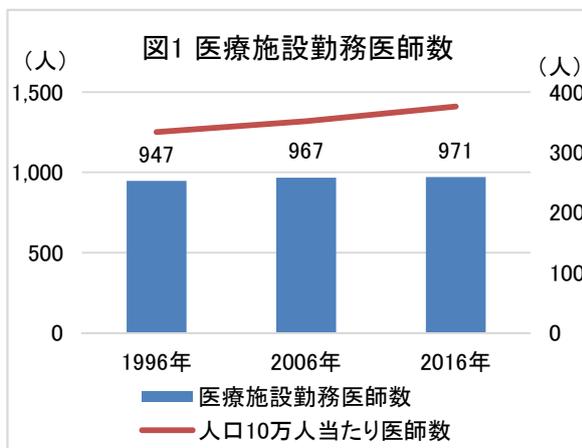
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて36人(-4%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に60人(48%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は19%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて5人(-1%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に29人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は26%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は4人(1%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて26人(21%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年13%、2016年16%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

宇部・小野田医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	283,912	275,055	258,259	-25,653	-9%	-8,857	-3%	-16,796	-6%	
総医師数	1,010	1,054	1,030	20	2%	44	4%	-24	-2%	
人口10万対	355.7	383.2	398.8	43.1	12%	27.5	8%	15.6	4%	
医療施設勤務医師数	947	967	971	24	3%	20	2%	4	0%	
人口10万対	333.6	351.6	376.0	42.4	13%	18.0	5%	24.4	7%	
男性医師数	821	805	785	-36	-4%	-16	-2%	-20	-2%	
人口10万対	289.2	292.7	304.0	14.8	5%	3.5	1%	11.3	4%	
女性医師数	126	162	186	60	48%	36	29%	24	15%	
人口10万対	44.4	58.9	72.0	27.6	62%	14.5	33%	13.1	22%	
病院勤務医師数	720	730	715	-5	-1%	10	1%	-15	-2%	
人口10万対	253.6	265.4	276.9	23.3	9%	11.8	5%	11.5	4%	
診療所勤務医師数	227	237	256	29	13%	10	4%	19	8%	
人口10万対	80.0	86.2	99.1	19.2	24%	6.2	8%	13.0	15%	
医療施設勤務医 平均年齢	44.0	45.3	49.1	5.1	12%	1.3	3%	3.8	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	333	275	192	-141	-42%	-58	-17%	-83	-30%
	35-49歳	344	379	348	4	1%	35	10%	-31	-8%
	50-64歳	145	215	280	135	93%	70	48%	65	30%
	65歳以上	125	98	151	26	21%	-27	-22%	53	54%
	75歳以上(再掲)	38	44	52	14	37%	6	16%	8	18%
男性	24-34歳	263	196	129	-134	-51%	-67	-25%	-67	-34%
	35-49歳	311	327	274	-37	-12%	16	5%	-53	-16%
	50-64歳	134	193	245	111	83%	59	44%	52	27%
	65歳以上	113	89	137	24	21%	-24	-21%	48	54%
	75歳以上(再掲)	32	39	50	18	56%	7	22%	11	28%
女性	24-34歳	70	79	63	-7	-10%	9	13%	-16	-20%
	35-49歳	33	52	74	41	124%	19	58%	22	42%
	50-64歳	11	22	35	24	218%	11	100%	13	59%
	65歳以上	12	9	14	2	17%	-3	-25%	5	56%
	75歳以上(再掲)	6	5	2	-4	-67%	-1	-17%	-3	-60%
病院	24-34歳	333	274	192	-141	-42%	-59	-18%	-82	-30%
	35-49歳	285	315	304	19	7%	30	11%	-11	-3%
	50-64歳	67	113	164	97	145%	46	69%	51	45%
	65歳以上	35	28	55	20	57%	-7	-20%	27	96%
	75歳以上(再掲)	10	12	15	5	50%	2	20%	3	25%
診療所	24-34歳	0	1	0	0		1		-1	-100%
	35-49歳	59	64	44	-15	-25%	5	8%	-20	-31%
	50-64歳	78	102	116	38	49%	24	31%	14	14%
	65歳以上	90	70	96	6	7%	-20	-22%	26	37%
	75歳以上(再掲)	28	32	37	9	32%	4	14%	5	16%
	85歳以上(再掲)	6	3	11	5	83%	-3	-50%	8	267%

宇部・小野田医療圏

<医師数の推移>

宇部・小野田医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科であり、少ない診療科は、形成外科、リハビリテーション科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、リハビリテーション科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	947	333.6	68	967	351.6	68	971	376.0	65	24	3%	42.4	13%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	347	122.2	64	360	130.9	68	338	130.9	63	-9	-3%	8.7	7%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	43	15.1	59	40	14.5	57	52	20.1	63	9	21%	5.0	33%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	49	17.3	73	48	17.5	67	58	22.5	69	9	18%	5.2	30%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	110	38.7	70	91	33.1	72	104	40.3	79	-6	-5%	1.5	4%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.4	49	1	0.4	47	1	0.4	46	0	0%	0.0	10%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	7	2.5	56	6	2.2	51	9	3.5	56	2	29%	1.0	41%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	40	14.1	88	34	12.4	82	38	14.7	84	-2	-5%	0.6	4%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	69	24.3	73	62	22.5	66	65	25.2	66	-4	-6%	0.9	4%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.4	42	1	0.4	39	1		0.4	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	31	10.9	66	26	9.5	60	30	11.6	62	-1	-3%	0.7	6%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	42	14.8	63	35	12.7	57	39	15.1	62	-3	-7%	0.3	2%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	45	15.8	75	39	14.2	73	32	12.4	66	-13	-29%	-3.5	-22%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	30	10.6	78	31	11.3	79	35	13.6	82	5	17%	3.0	28%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	49	17.3	67	36	13.1	60	39	15.1	60	-10	-20%	-2.2	-13%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.4	45	3	1.1	47	3	1.2	45	2	200%	0.8	230%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	33	11.6	77	37	13.5	82	44	17.0	82	11	33%	5.4	47%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	26	9.2	66	26	9.5	64	42	16.3	70	16	62%	7.1	78%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				20	7.3	94	15	5.8	65	-5	-25%	-1.5	-20%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				51	18.5	58	16	6.2	43	16	-69%	-12.3	-67%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	24	8.5	59	20	7.3	54	10	3.9	44	-14	-58%	-4.6	-54%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

宇部・小野田医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は49,598人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は26人(-3%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は453人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は20%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

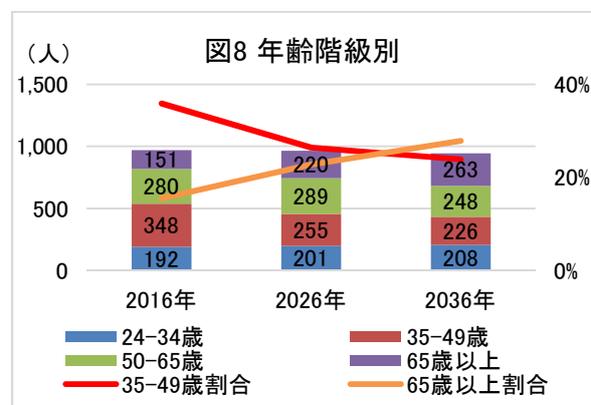
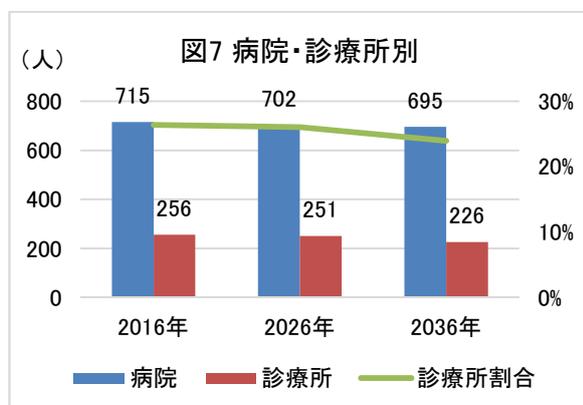
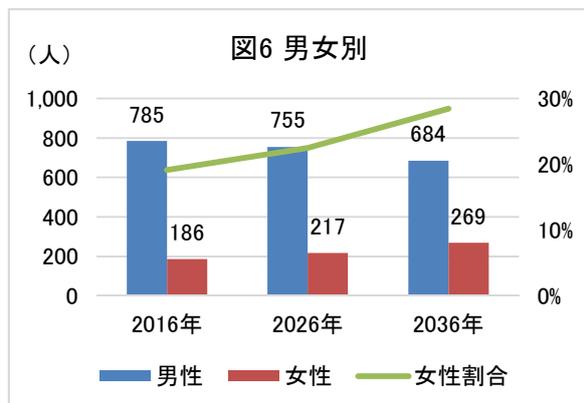
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて101人(-13%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に83人(45%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は28%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて20人(-3%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に30人(-12%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は122人(-35%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて112人(74%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



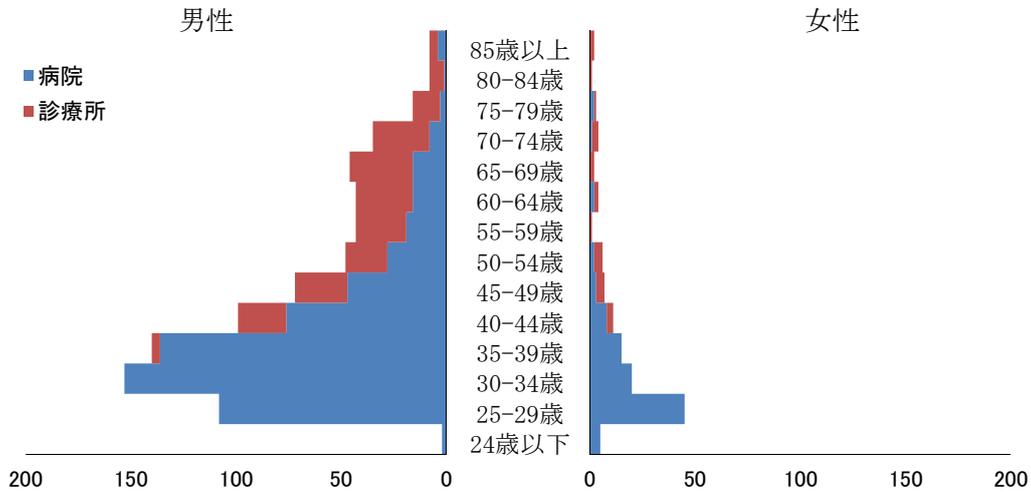
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇部・小野田医療圏

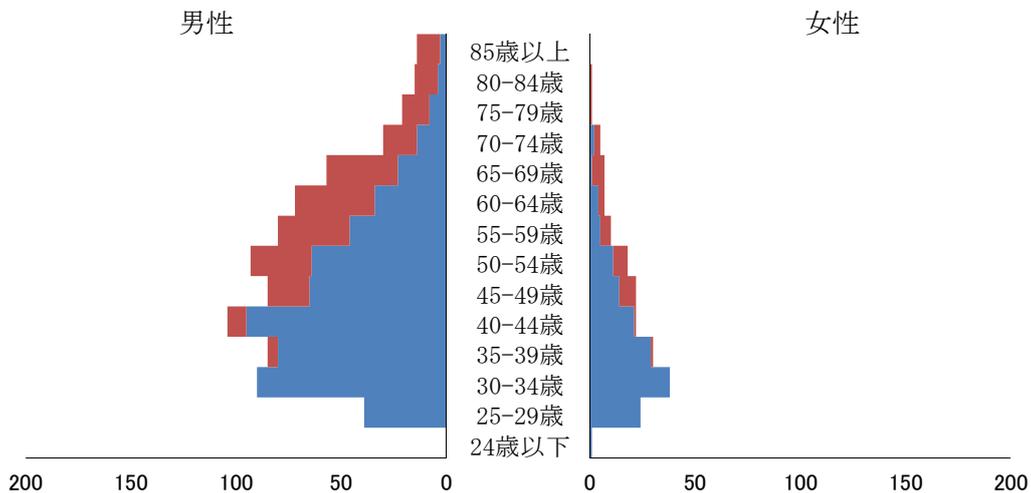
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

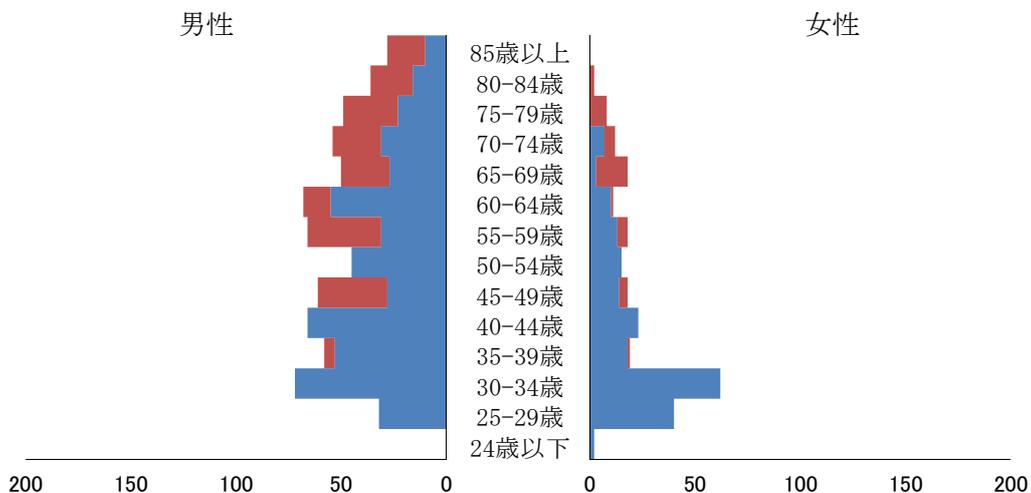
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宇部・小野田医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	258,259	234,351	208,661	-49,598	-19%	-23,908	-9%	-25,690	-11%	
医療施設勤務医師数	971	965	945	-26	-3%	-6	-1%	-20	-2%	
人口10万対	376.0	411.8	452.9	76.9	20%	35.8	10%	41.1	10%	
男性医師数	785	755	684	-101	-13%	-30	-4%	-71	-9%	
人口10万対	304.0	322.2	327.8	23.8	8%	18.2	6%	5.6	2%	
女性医師数	186	217	269	83	45%	31	17%	52	24%	
人口10万対	72.0	92.6	128.9	56.9	79%	20.6	29%	36.3	39%	
病院勤務医師数	715	702	695	-20	-3%	-13	-2%	-7	-1%	
人口10万対	276.9	299.6	333.1	56.2	20%	22.7	8%	33.5	11%	
診療所勤務医師数	256	251	226	-30	-12%	-5	-2%	-25	-10%	
人口10万対	99.1	107.1	108.3	9.2	9%	8.0	8%	1.2	1%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	192	201	208	16	8%	9	5%	7	3%
	35-49歳	348	255	226	-122	-35%	-93	-27%	-29	-11%
	50-64歳	280	289	248	-32	-11%	9	3%	-41	-14%
	65歳以上	151	220	263	112	74%	69	46%	43	20%
	75歳以上(再掲)	52	88	121	69	133%	36	69%	33	38%
男性	24-34歳	129	135	105	-24	-19%	6	5%	-30	-22%
	35-49歳	274	185	167	-107	-39%	-89	-32%	-18	-10%
	50-64歳	245	239	187	-58	-24%	-6	-2%	-52	-22%
	65歳以上	137	196	225	88	64%	59	43%	29	15%
	75歳以上(再掲)	50	81	112	62	124%	31	62%	31	38%
女性	24-34歳	63	66	104	41	65%	3	5%	38	58%
	35-49歳	74	75	61	-13	-18%	1	1%	-14	-19%
	50-64歳	35	50	62	27	77%	15	43%	12	24%
	65歳以上	14	26	42	28	200%	12	86%	16	62%
	75歳以上(再掲)	2	9	12	10	500%	7	350%	3	33%
病院	24-34歳	192	201	208	16	8%	9	5%	7	3%
	35-49歳	304	219	201	-103	-34%	-85	-28%	-18	-8%
	50-64歳	164	194	170	6	4%	30	18%	-24	-12%
	65歳以上	55	88	116	61	111%	33	60%	28	32%
	75歳以上(再掲)	15	34	48	33	220%	19	127%	14	41%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	44	40	41	-3	-7%	-4	-9%	1	2%
	50-64歳	116	80	51	-65	-56%	-36	-31%	-29	-36%
	65歳以上	96	131	134	38	40%	35	36%	3	2%
	75歳以上(再掲)	37	54	72	35	95%	17	46%	18	33%
	85歳以上(再掲)	11	13	19	8	73%	2	18%	6	46%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

下関医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は42,200人(-14%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は116人(20%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は260人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は39%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

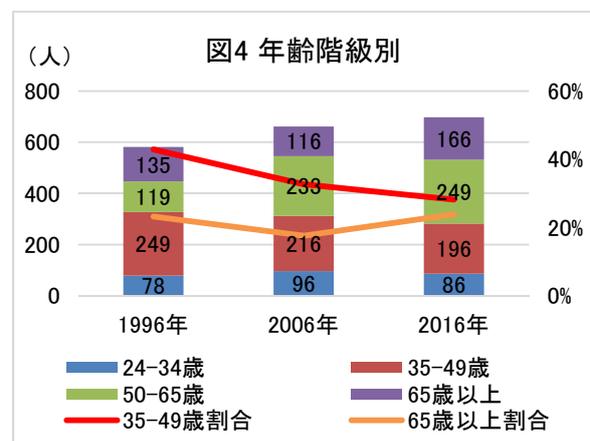
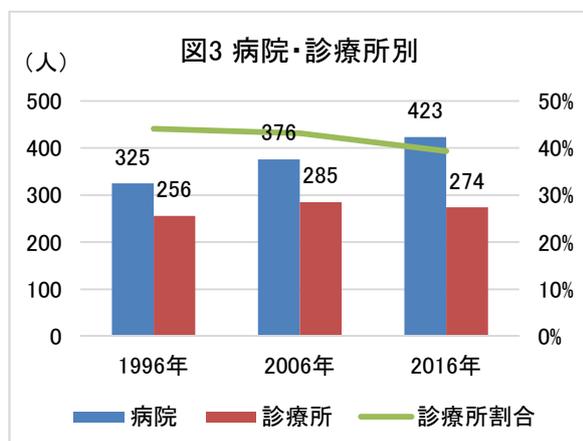
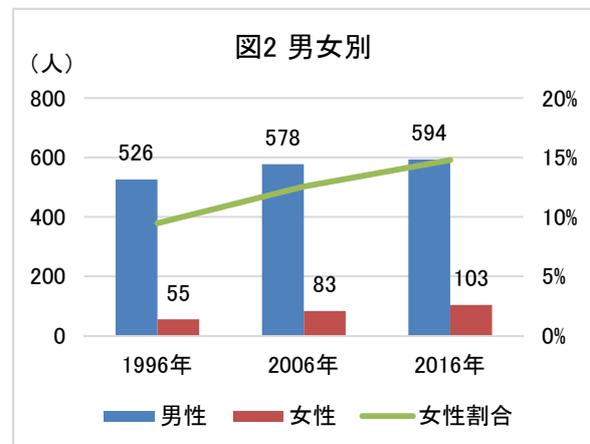
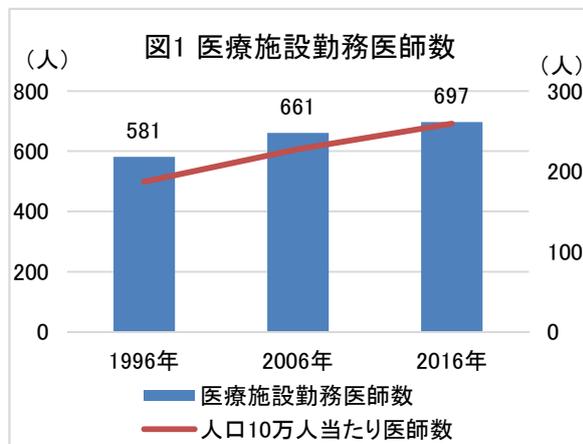
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて68人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に48人(87%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて98人(30%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に18人(7%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は39%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は53人(-21%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて31人(23%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年24%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

下関医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	310,717	290,693	268,517	-42,200	-14%	-20,024	-6%	-22,176	-8%	
総医師数	591	685	714	123	21%	94	16%	29	4%	
人口10万対	190.2	235.6	265.9	75.7	40%	45.4	24%	30.3	13%	
医療施設勤務医師数	581	661	697	116	20%	80	14%	36	5%	
人口10万対	187.0	227.4	259.6	72.6	39%	40.4	22%	32.2	14%	
男性医師数	526	578	594	68	13%	52	10%	16	3%	
人口10万対	169.3	198.8	221.2	51.9	31%	29.5	17%	22.4	11%	
女性医師数	55	83	103	48	87%	28	51%	20	24%	
人口10万対	17.7	28.6	38.4	20.7	117%	10.9	61%	9.8	34%	
病院勤務医師数	325	376	423	98	30%	51	16%	47	13%	
人口10万対	104.6	129.3	157.5	52.9	51%	24.7	24%	28.2	22%	
診療所勤務医師数	256	285	274	18	7%	29	11%	-11	-4%	
人口10万対	82.4	98.0	102.0	19.7	24%	15.7	19%	4.0	4%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.3	51.6	53.7	2.3	5%	0.2	0%	2.1	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	78	96	86	8	10%	18	23%	-10	-10%
	35-49歳	249	216	196	-53	-21%	-33	-13%	-20	-9%
	50-64歳	119	233	249	130	109%	114	96%	16	7%
	65歳以上	135	116	166	31	23%	-19	-14%	50	43%
	75歳以上(再掲)	38	55	46	8	21%	17	45%	-9	-16%
男性	24-34歳	67	67	58	-9	-13%	0	0%	-9	-13%
	35-49歳	223	192	156	-67	-30%	-31	-14%	-36	-19%
	50-64歳	111	210	230	119	107%	99	89%	20	10%
	65歳以上	125	109	150	25	20%	-16	-13%	41	38%
	75歳以上(再掲)	34	52	43	9	26%	18	53%	-9	-17%
女性	24-34歳	11	29	28	17	155%	18	164%	-1	-3%
	35-49歳	26	24	40	14	54%	-2	-8%	16	67%
	50-64歳	8	23	19	11	138%	15	188%	-4	-17%
	65歳以上	10	7	16	6	60%	-3	-30%	9	129%
	75歳以上(再掲)	4	3	3	-1	-25%	-1	-25%	0	0%
病院	24-34歳	78	87	84	6	8%	9	12%	-3	-3%
	35-49歳	167	154	147	-20	-12%	-13	-8%	-7	-5%
	50-64歳	42	92	130	88	210%	50	119%	38	41%
	65歳以上	38	43	62	24	63%	5	13%	19	44%
	75歳以上(再掲)	10	19	20	10	100%	9	90%	1	5%
診療所	24-34歳	0	9	2	2		9		-7	-78%
	35-49歳	82	62	49	-33	-40%	-20	-24%	-13	-21%
	50-64歳	77	141	119	42	55%	64	83%	-22	-16%
	65歳以上	97	73	104	7	7%	-24	-25%	31	42%
	75歳以上(再掲)	28	36	26	-2	-7%	8	29%	-10	-28%
	85歳以上(再掲)	2	7	8	6	300%	5	250%	1	14%

下関医療圏

＜医師数の推移＞

下関医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリテーション科、臨床研修医であり、少ない診療科は、形成外科、産婦人科(総数)、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、形成外科、泌尿器科、リハビリテーション科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	581	187.0	50	661	227.4	53	697	259.6	52	116	20%	72.6	39%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	255	82.1	52	267	91.8	55	278	103.5	54	23	9%	21.5	26%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	32	10.3	48	29	10.0	47	30	11.2	46	-2	-6%	0.9	8%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	30	9.7	54	33	11.4	54	42	15.6	56	12	40%	6.0	62%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	67	21.6	51	64	22.0	56	57	21.2	53	-10	-15%	-0.3	-2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.3	48	1	0.3	47	1	0.4	46	0	0%	0.1	16%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	6	1.9	52	7	2.4	52	9	3.4	55	3	50%	1.4	74%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	16	5.1	53	14	4.8	50	21	7.8	58	5	31%	2.7	52%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	44	14.2	52	51	17.5	56	51	19.0	54	7	16%	4.8	34%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.6	47	2	0.7	44	3	1.1	44	1	50%	0.5	74%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	17	5.5	50	20	6.9	52	17	6.3	48	0	0%	0.9	16%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	19	6.1	44	24	8.3	47	25	9.3	47	6	32%	3.2	52%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	20	6.4	48	20	6.9	50	17	6.3	47	-3	-15%	-0.1	-2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	14	4.5	52	19	6.5	58	21	7.8	59	7	50%	3.3	74%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	26	8.4	46	18	6.2	42	20	7.4	44	-6	-23%	-0.9	-11%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.3	45	6	2.1	55	12	4.5	66	11	1100%	4.1	1289%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	13	4.2	53	13	4.5	52	12	4.5	48	-1	-8%	0.3	7%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	11	3.5	49	14	4.8	50	14	5.2	46	3	27%	1.7	47%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.3	43	3	1.1	43	2	200%	0.8	225%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				35	12.0	51	51	19.0	56	51	46%	7.0	58%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	7	2.3	45	23	7.9	55	13	4.8	46	6	86%	2.6	115%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

下関医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は56,545人(-21%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は9人(1%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は333人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

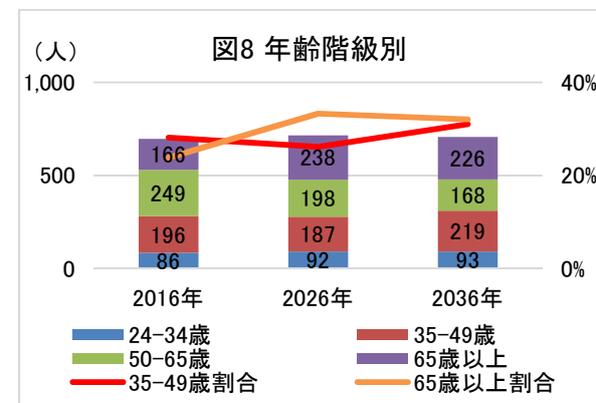
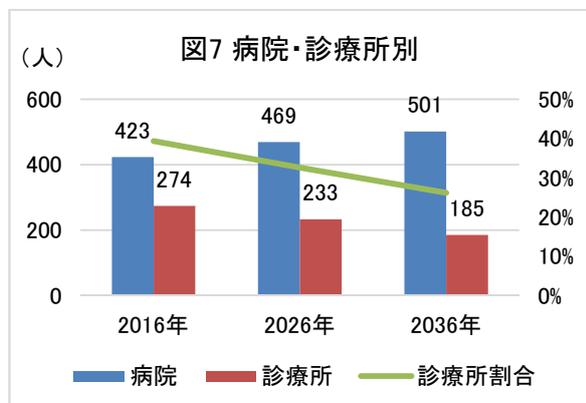
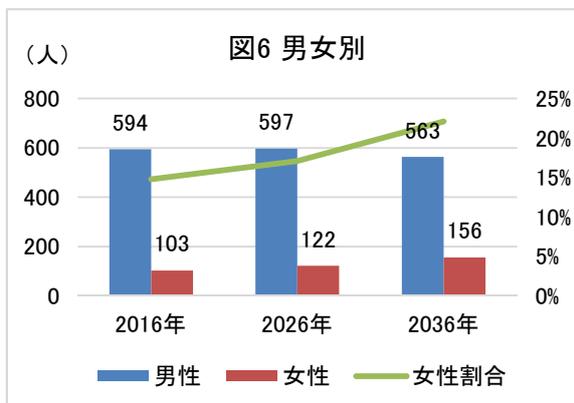
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて31人(-5%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に53人(51%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は22%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて78人(18%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に89人(-32%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は23人(12%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて60人(36%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年24%、2036年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



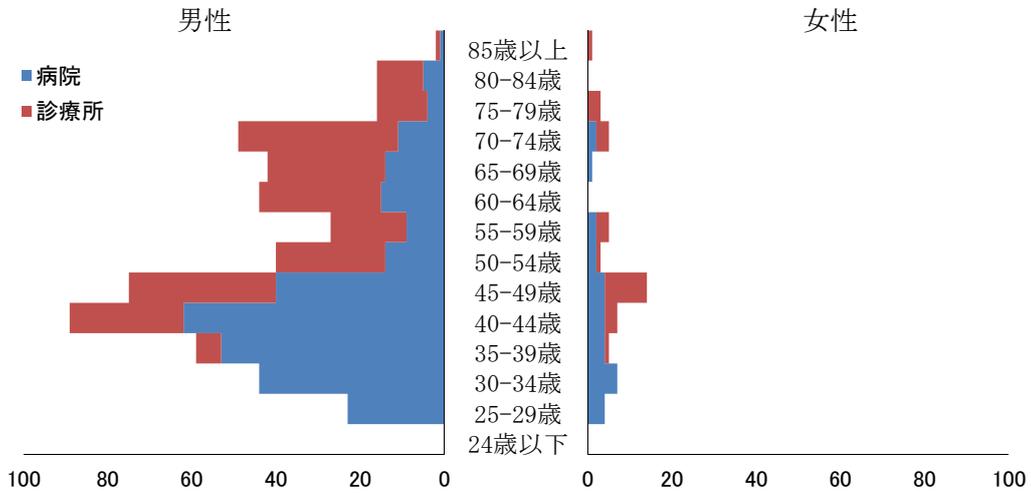
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

下関医療圏

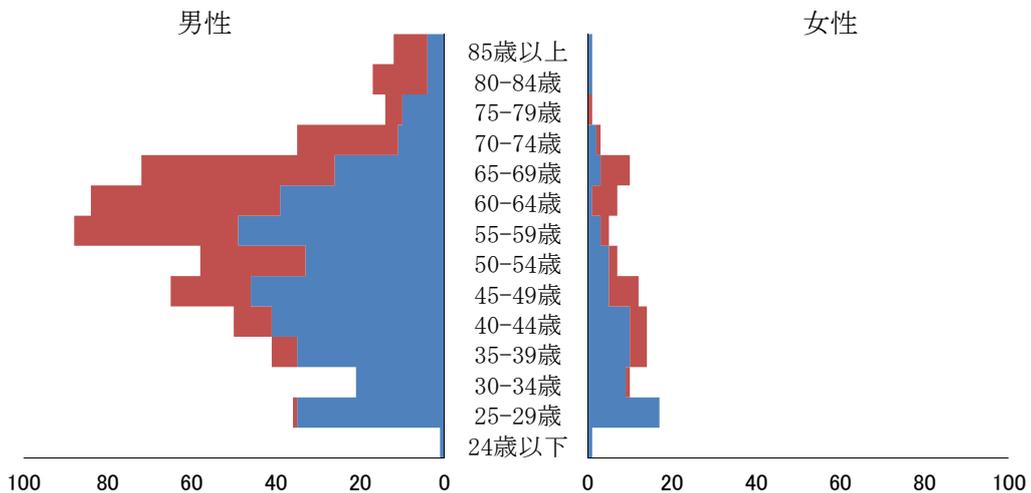
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

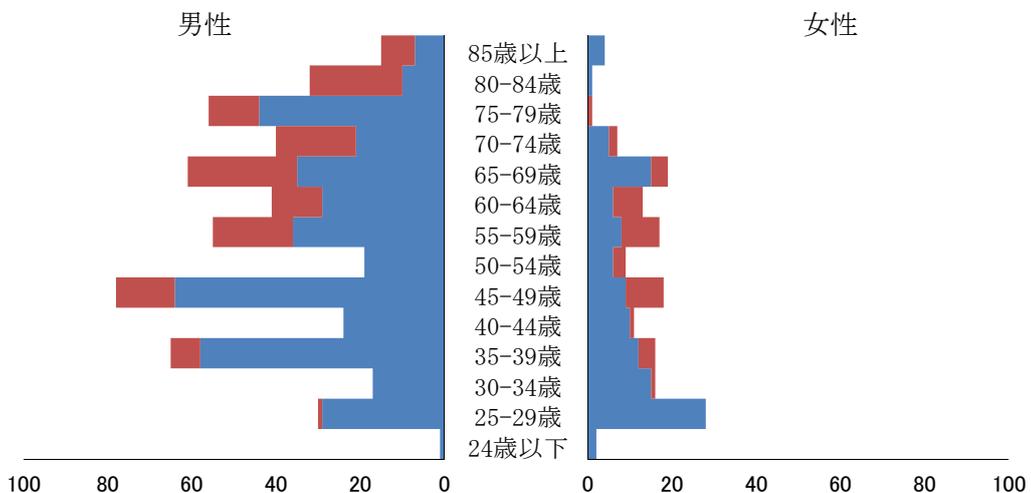
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

下関医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	268,517	241,519	211,972	-56,545	-21%	-26,998	-10%	-29,547	-12%	
医療施設勤務医師数	697	715	706	9	1%	18	3%	-9	-1%	
人口10万対	259.6	296.0	333.1	73.5	28%	36.5	14%	37.0	13%	
男性医師数	594	597	563	-31	-5%	3	1%	-34	-6%	
人口10万対	221.2	247.2	265.6	44.4	20%	26.0	12%	18.4	7%	
女性医師数	103	122	156	53	51%	19	18%	34	28%	
人口10万対	38.4	50.5	73.6	35.2	92%	12.2	32%	23.1	46%	
病院勤務医師数	423	469	501	78	18%	46	11%	32	7%	
人口10万対	157.5	194.2	236.4	78.8	50%	36.7	23%	42.2	22%	
診療所勤務医師数	274	233	185	-89	-32%	-41	-15%	-48	-21%	
人口10万対	102.0	96.5	87.3	-14.8	-14%	-5.6	-5%	-9.2	-10%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	86	92	93	7	8%	6	7%	1	1%
	35-49歳	196	187	219	23	12%	-9	-5%	32	17%
	50-64歳	249	198	168	-81	-33%	-51	-20%	-30	-15%
	65歳以上	166	238	226	60	36%	72	43%	-12	-5%
	75歳以上(再掲)	46	77	105	59	128%	31	67%	28	36%
男性	24-34歳	58	62	48	-10	-17%	4	7%	-14	-23%
	35-49歳	156	145	180	24	15%	-11	-7%	35	24%
	50-64歳	230	169	129	-101	-44%	-61	-27%	-40	-24%
	65歳以上	150	221	206	56	37%	71	47%	-15	-7%
	75歳以上(再掲)	43	70	100	57	133%	27	63%	30	43%
女性	24-34歳	28	30	46	18	64%	2	7%	16	53%
	35-49歳	40	46	48	8	20%	6	15%	2	4%
	50-64歳	19	28	36	17	89%	9	47%	8	29%
	65歳以上	16	18	26	10	63%	2	13%	8	44%
	75歳以上(再掲)	3	7	10	7	233%	4	133%	3	43%
病院	24-34歳	84	90	91	7	8%	6	7%	1	1%
	35-49歳	147	145	169	22	15%	-2	-1%	24	17%
	50-64歳	130	117	104	-26	-20%	-13	-10%	-13	-11%
	65歳以上	62	117	137	75	121%	55	89%	20	17%
	75歳以上(再掲)	20	36	68	48	240%	16	80%	32	89%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	49	36	37	-12	-24%	-13	-27%	1	3%
	50-64歳	119	77	49	-70	-59%	-42	-35%	-28	-36%
	65歳以上	104	118	97	-7	-7%	14	13%	-21	-18%
	75歳以上(再掲)	26	38	45	19	73%	12	46%	7	18%
	85歳以上(再掲)	8	6	8	0	0%	-2	-25%	2	33%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

長門医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は10,126人(-22%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は5人(-7%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は175人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は19%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

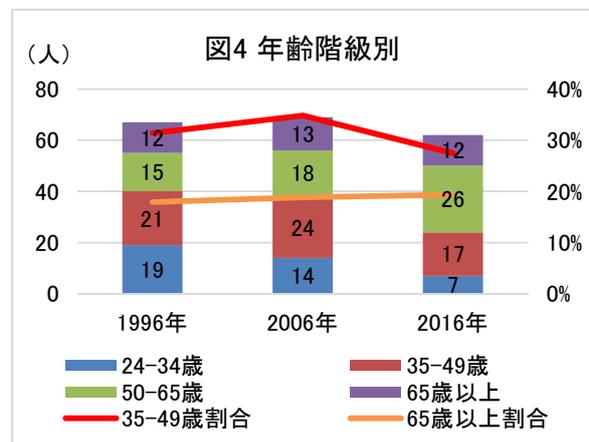
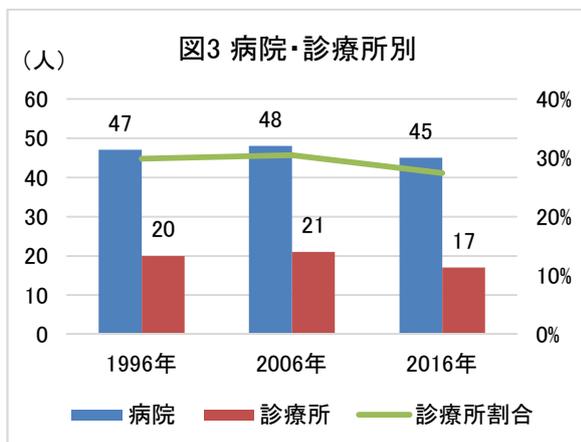
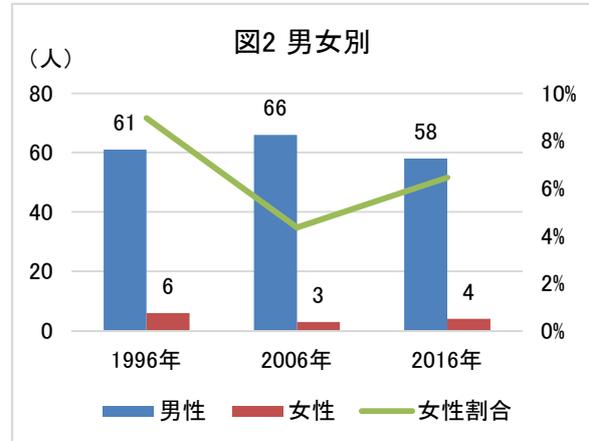
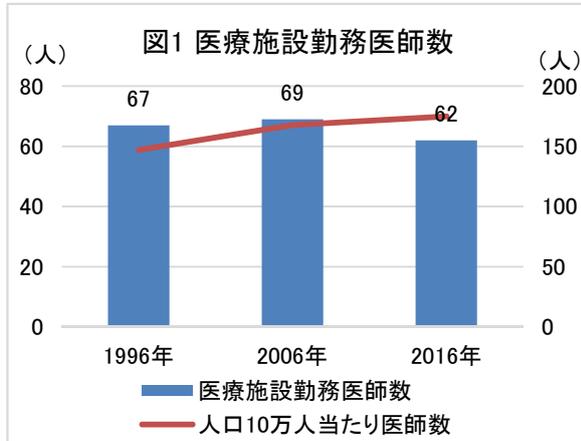
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて3人(-5%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-33%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は6%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて2人(-4%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-15%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は27%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は4人(-19%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年19%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

長門医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	45,565	41,127	35,439	-10,126	-22%	-4,438	-10%	-5,688	-14%	
総医師数	70	71	63	-7	-10%	1	1%	-8	-11%	
人口10万対	153.6	172.6	177.8	24.1	16%	19.0	12%	5.1	3%	
医療施設勤務医師数	67	69	62	-5	-7%	2	3%	-7	-10%	
人口10万対	147.0	167.8	174.9	27.9	19%	20.7	14%	7.2	4%	
男性医師数	61	66	58	-3	-5%	5	8%	-8	-12%	
人口10万対	133.9	160.5	163.7	29.8	22%	26.6	20%	3.2	2%	
女性医師数	6	3	4	-2	-33%	-3	-50%	1	33%	
人口10万対	13.2	7.3	11.3	-1.9	-14%	-5.9	-45%	4.0	55%	
病院勤務医師数	47	48	45	-2	-4%	1	2%	-3	-6%	
人口10万対	103.1	116.7	127.0	23.8	23%	13.6	13%	10.3	9%	
診療所勤務医師数	20	21	17	-3	-15%	1	5%	-4	-19%	
人口10万対	43.9	51.1	48.0	4.1	9%	7.2	16%	-3.1	-6%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.8	50.9	54.6	6.8	14%	3.1	6%	3.7	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	19	14	7	-12	-63%	-5	-26%	-7	-50%
	35-49歳	21	24	17	-4	-19%	3	14%	-7	-29%
	50-64歳	15	18	26	11	73%	3	20%	8	44%
	65歳以上	12	13	12	0	0%	1	8%	-1	-8%
	75歳以上(再掲)	4	7	6	2	50%	3	75%	-1	-14%
男性	24-34歳	17	14	5	-12	-71%	-3	-18%	-9	-64%
	35-49歳	20	22	17	-3	-15%	2	10%	-5	-23%
	50-64歳	15	18	24	9	60%	3	20%	6	33%
	65歳以上	9	12	12	3	33%	3	33%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	6	6	4	200%	4	200%	0	0%
女性	24-34歳	2	0	2	0	0%	-2	-100%	2	
	35-49歳	1	2	0	-1	-100%	1	100%	-2	-100%
	50-64歳	0	0	2	2		0		2	
	65歳以上	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
病院	24-34歳	18	14	7	-11	-61%	-4	-22%	-7	-50%
	35-49歳	17	20	15	-2	-12%	3	18%	-5	-25%
	50-64歳	9	9	16	7	78%	0	0%	7	78%
	65歳以上	3	5	7	4	133%	2	67%	2	40%
	75歳以上(再掲)	1	2	4	3	300%	1	100%	2	100%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	4	4	2	-2	-50%	0	0%	-2	-50%
	50-64歳	6	9	10	4	67%	3	50%	1	11%
	65歳以上	9	8	5	-4	-44%	-1	-11%	-3	-38%
	75歳以上(再掲)	3	5	2	-1	-33%	2	67%	-3	-60%
	85歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	

長門医療圏

＜医師数の推移＞

長門医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)であり、少ない診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、脳神経外科、整形外科、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、眼科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	67	147.0	46	69	167.8	45	62	174.9	43	-5	-7%	27.9	19%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	25	54.9	44	29	70.5	47	29	81.8	48	4	16%	27.0	49%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	4	8.8	45	3	7.3	41	2	5.6	36	-2	-50%	-3.1	-36%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	6.6	46	5	12.2	55	5	14.1	53	2	67%	7.5	114%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	10	21.9	51	10	24.3	59	10	28.2	63	0	0%	6.3	29%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	6.6	58	3	7.3	60	0	0.0	28	-3	-100%	-6.6	-100%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	10	21.9	68	8	19.5	60	5	14.1	45	-5	-50%	-7.8	-36%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	1	2.2	41	1	2.4	39	1	2.8	38	0	0%	0.6	29%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	4.4	41	3	7.3	44	4	11.3	52	2	100%	6.9	157%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	2.2	36	2	4.9	43	1	2.8	36	0	0%	0.6	29%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	2.2	42	1	2.4	40	2	5.6	50	1	100%	3.4	157%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	2	4.4	37	2	4.9	39	2	5.6	40	0	0%	1.3	29%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	8.8	68	2	4.9	53	1	2.8	44	-3	-75%	-6.0	-68%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	34	0	0%	0.0	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	2.2	45	0	0.0	40	0	0.0	37	-1	-100%	-2.2	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

長門医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は10,851人(-31%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は11人(-18%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は207人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は19%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

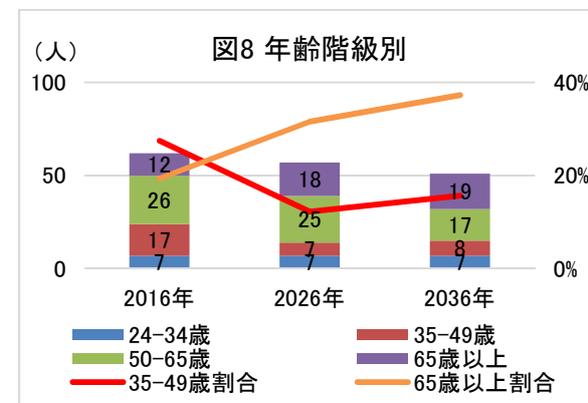
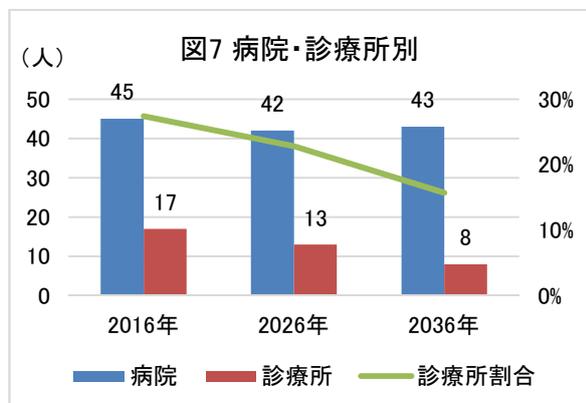
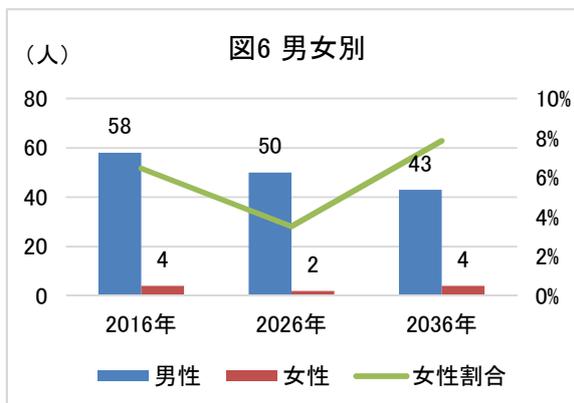
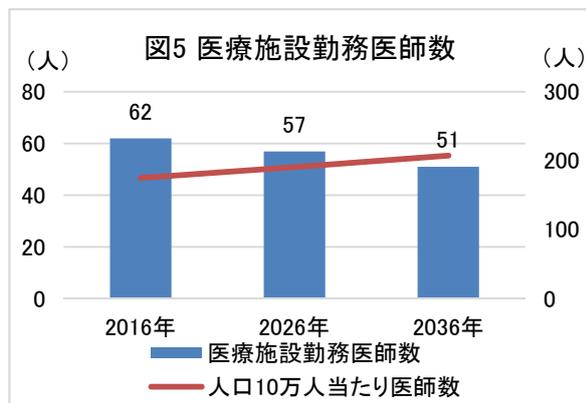
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて15人(-26%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は8%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて2人(-4%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(-53%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は16%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は9人(-53%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて7人(58%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年37%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



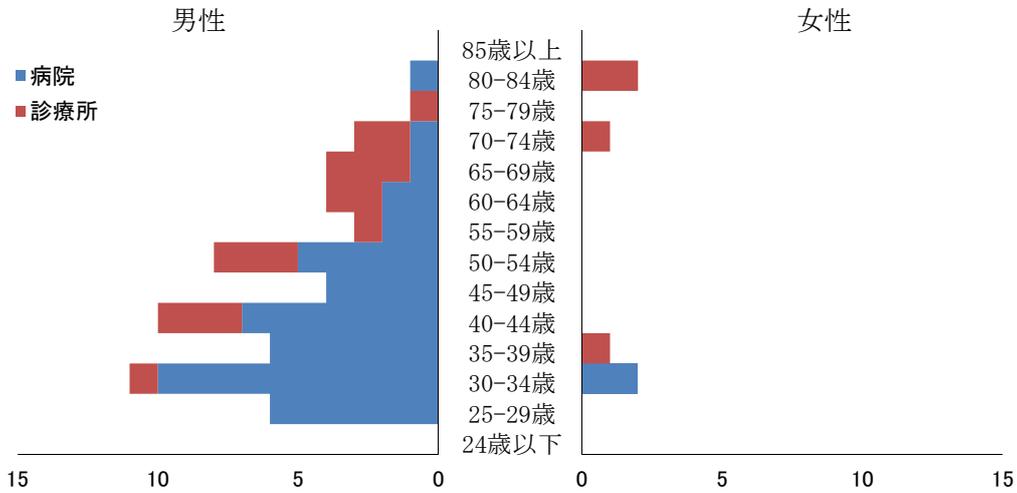
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

長門医療圏

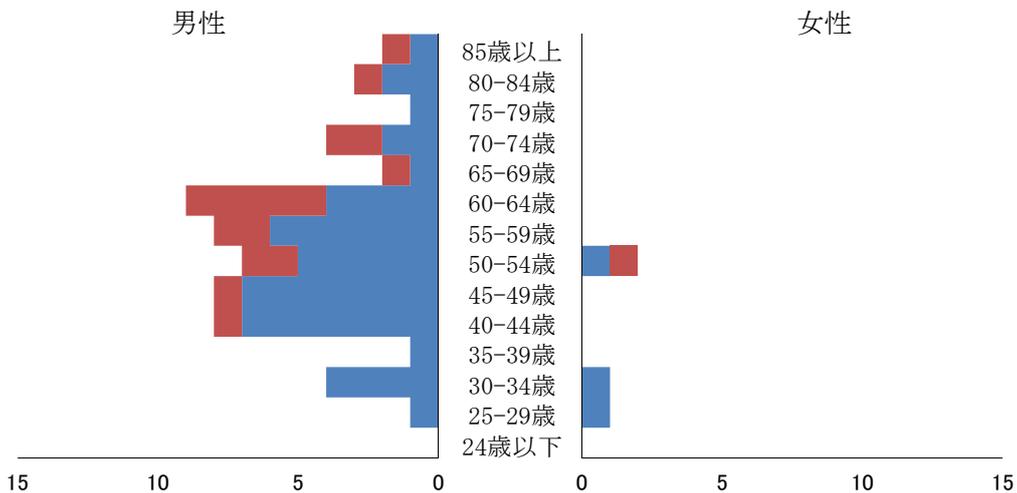
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

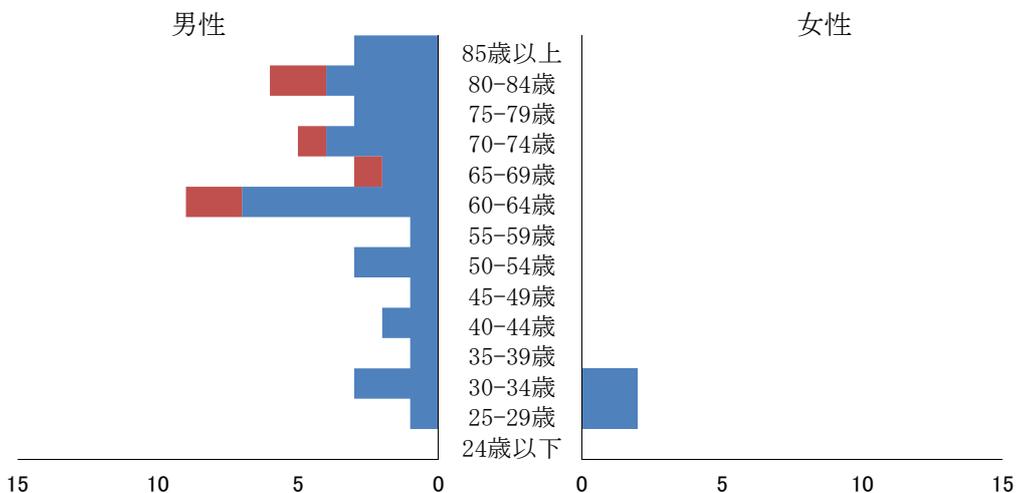
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

長門医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	35,439	29,893	24,588	-10,851	-31%	-5,546	-16%	-5,305	-18%	
医療施設勤務医師数	62	57	51	-11	-18%	-5	-8%	-6	-11%	
人口10万対	174.9	190.7	207.4	32.5	19%	15.7	9%	16.7	9%	
男性医師数	58	50	43	-15	-26%	-8	-14%	-7	-14%	
人口10万対	163.7	167.3	174.9	11.2	7%	3.6	2%	7.6	5%	
女性医師数	4	2	4	0	0%	-2	-50%	2	100%	
人口10万対	11.3	6.7	16.3	5.0	44%	-4.6	-41%	9.6	143%	
病院勤務医師数	45	42	43	-2	-4%	-3	-7%	1	2%	
人口10万対	127.0	140.5	174.9	47.9	38%	13.5	11%	34.4	24%	
診療所勤務医師数	17	13	8	-9	-53%	-4	-24%	-5	-38%	
人口10万対	48.0	43.5	32.5	-15.4	-32%	-4.5	-9%	-11.0	-25%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	7	7	7	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	17	7	8	-9	-53%	-10	-59%	1	14%
	50-64歳	26	25	17	-9	-35%	-1	-4%	-8	-32%
	65歳以上	12	18	19	7	58%	6	50%	1	6%
	75歳以上(再掲)	6	6	10	4	67%	0	0%	4	67%
男性	24-34歳	5	5	4	-1	-20%	0	0%	-1	-20%
	35-49歳	17	5	6	-11	-65%	-12	-71%	1	20%
	50-64歳	24	22	14	-10	-42%	-2	-8%	-8	-36%
	65歳以上	12	18	19	7	58%	6	50%	1	6%
	75歳以上(再掲)	6	6	10	4	67%	0	0%	4	67%
女性	24-34歳	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	35-49歳	0	0	0	0		0		0	
	50-64歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	7	7	7	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	15	6	8	-7	-47%	-9	-60%	2	33%
	50-64歳	16	17	11	-5	-31%	1	6%	-6	-35%
	65歳以上	7	12	17	10	143%	5	71%	5	42%
	75歳以上(再掲)	4	5	10	6	150%	1	25%	5	100%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	50-64歳	10	7	3	-7	-70%	-3	-30%	-4	-57%
	65歳以上	5	6	5	0	0%	1	20%	-1	-17%
	75歳以上(再掲)	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%
	85歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

萩医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は17,180人(-24%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は8人(-8%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は172人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は22%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

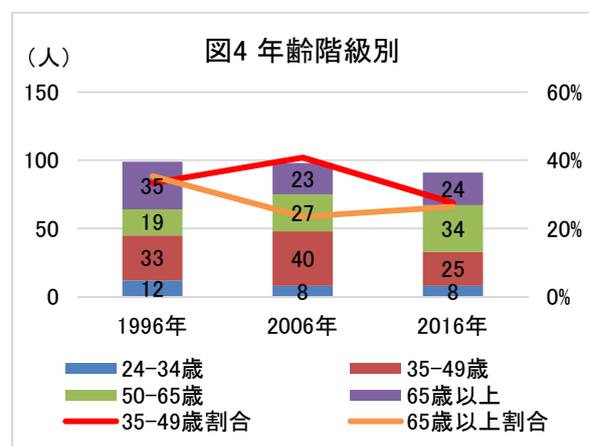
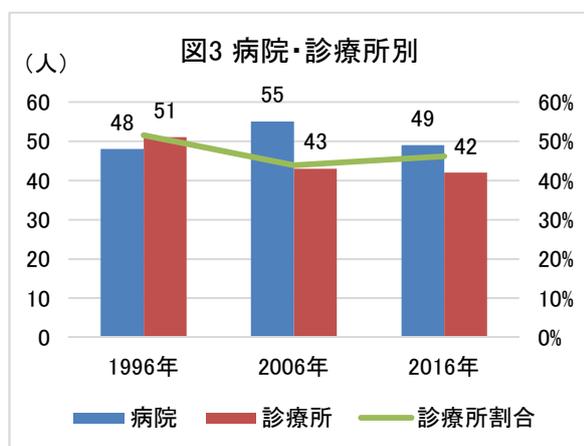
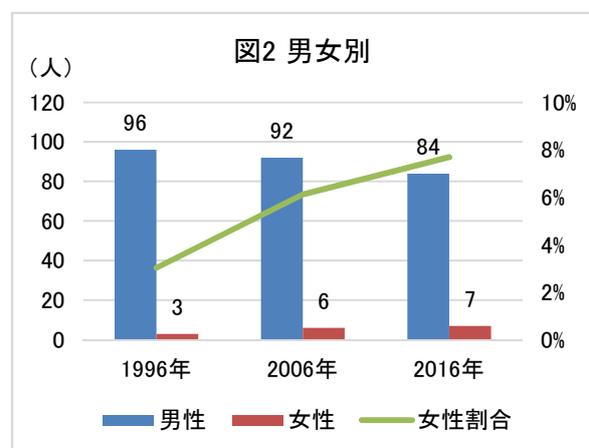
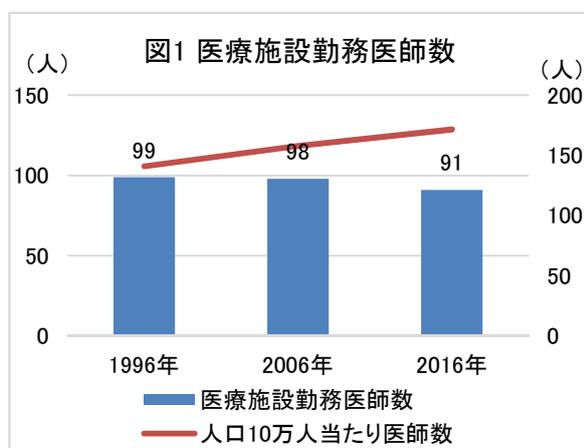
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて12人(-13%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(133%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は8%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1人(2%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(-18%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は46%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は8人(-24%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて11人(-31%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年35%、2016年26%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

萩医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	70,203	62,091	53,023	-17,180	-24%	-8,112	-12%	-9,068	-15%	
総医師数	102	99	95	-7	-7%	-3	-3%	-4	-4%	
人口10万対	145.3	159.4	179.2	33.9	23%	14.2	10%	19.7	12%	
医療施設勤務医師数	99	98	91	-8	-8%	-1	-1%	-7	-7%	
人口10万対	141.0	157.8	171.6	30.6	22%	16.8	12%	13.8	9%	
男性医師数	96	92	84	-12	-13%	-4	-4%	-8	-9%	
人口10万対	136.7	148.2	158.4	21.7	16%	11.4	8%	10.3	7%	
女性医師数	3	6	7	4	133%	3	100%	1	17%	
人口10万対	4.3	9.7	13.2	8.9	209%	5.4	126%	3.5	37%	
病院勤務医師数	48	55	49	1	2%	7	15%	-6	-11%	
人口10万対	68.4	88.6	92.4	24.0	35%	20.2	30%	3.8	4%	
診療所勤務医師数	51	43	42	-9	-18%	-8	-16%	-1	-2%	
人口10万対	72.6	69.3	79.2	6.6	9%	-3.4	-5%	10.0	14%	
医療施設勤務医 平均年齢	55.0	52.9	56.2	1.2	2%	-2.1	-4%	3.3	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	12	8	8	-4	-33%	-4	-33%	0	0%
	35-49歳	33	40	25	-8	-24%	7	21%	-15	-38%
	50-64歳	19	27	34	15	79%	8	42%	7	26%
	65歳以上	35	23	24	-11	-31%	-12	-34%	1	4%
	75歳以上(再掲)	12	12	12	0	0%	0	0%	0	0%
男性	24-34歳	11	8	7	-4	-36%	-3	-27%	-1	-13%
	35-49歳	32	36	21	-11	-34%	4	13%	-15	-42%
	50-64歳	19	26	33	14	74%	7	37%	7	27%
	65歳以上	34	22	23	-11	-32%	-12	-35%	1	5%
	75歳以上(再掲)	12	12	11	-1	-8%	0	0%	-1	-8%
女性	24-34歳	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
	35-49歳	1	4	4	3	300%	3	300%	0	0%
	50-64歳	0	1	1	1		1		0	0%
	65歳以上	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	
病院	24-34歳	9	5	4	-5	-56%	-4	-44%	-1	-20%
	35-49歳	17	29	15	-2	-12%	12	71%	-14	-48%
	50-64歳	9	11	17	8	89%	2	22%	6	55%
	65歳以上	13	10	13	0	0%	-3	-23%	3	30%
	75歳以上(再掲)	4	5	8	4	100%	1	25%	3	60%
診療所	24-34歳	3	3	4	1	33%	0	0%	1	33%
	35-49歳	16	11	10	-6	-38%	-5	-31%	-1	-9%
	50-64歳	10	16	17	7	70%	6	60%	1	6%
	65歳以上	22	13	11	-11	-50%	-9	-41%	-2	-15%
	75歳以上(再掲)	8	7	4	-4	-50%	-1	-13%	-3	-43%
	85歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	

萩医療圏

<医師数の推移>

萩医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、心臓血管外科、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	99	141.0	45	98	157.8	44	91	171.6	42	-8	-8%	30.6	22%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	42	59.8	45	42	67.6	46	38	71.7	44	-4	-10%	11.8	20%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	5	7.1	41	3	4.8	35	4	7.5	39	-1	-20%	0.4	6%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	2.8	37	6	9.7	50	5	9.4	45	3	150%	6.6	231%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	19	27.1	57	17	27.4	63	15	28.3	63	-4	-21%	1.2	5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	1.4	49	0	0.0	38	0	0.0	36	-1	-100%	-1.4	-100%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	2.8	44	3	4.8	50	2	3.8	42	0	0%	0.9	32%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	7	10.0	44	7	11.3	43	8	15.1	47	1	14%	5.1	51%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.8	43	1	1.6	36	2	3.8	41	0	0%	0.9	32%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	7.1	47	7	11.3	54	4	7.5	43	-1	-20%	0.4	6%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	4.3	42	4	6.4	48	3	5.7	45	0	0%	1.4	32%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	1.4	38	1	1.6	36	1	1.9	36	0	0%	0.5	32%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	5	7.1	44	4	6.4	43	3	5.7	40	-2	-40%	-1.5	-21%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.6	51	3	5.7	74	3	3%	5.7	57%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	2	3.2	48	3	5.7	51	3	3%	5.7	57%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	34	0	0%	0.0	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	5	7.1	56	0	0.0	40	0	0.0	37	-5	-100%	-7.1	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

萩医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は17,573人(-33%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は2人(2%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は262人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は53%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

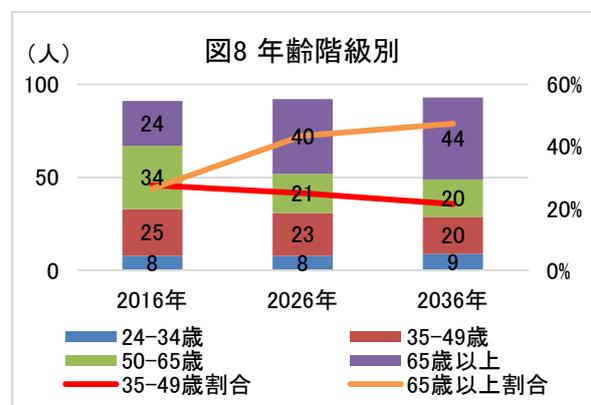
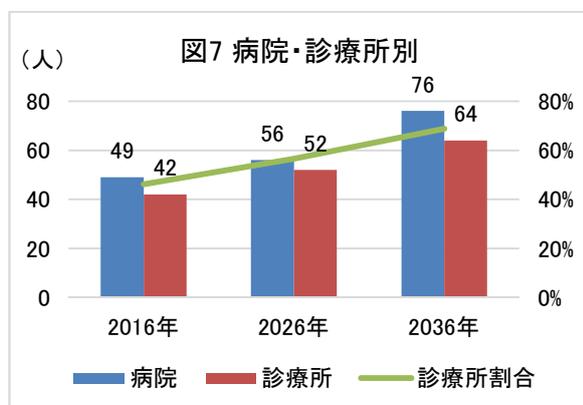
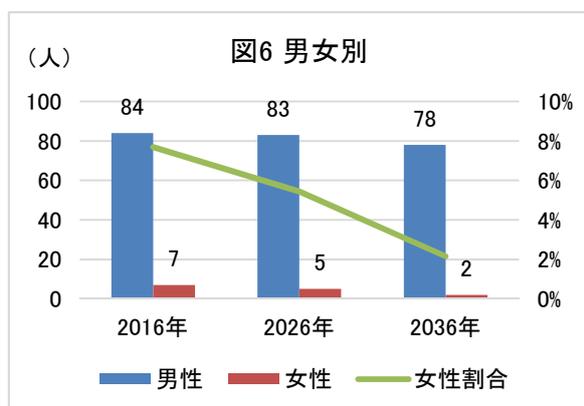
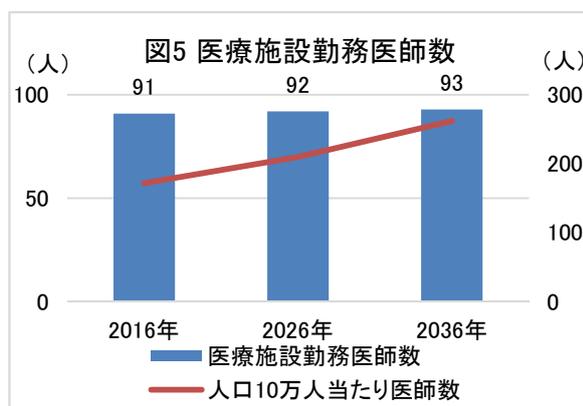
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて6人(-7%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(-71%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は2%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて27人(55%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に22人(52%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は69%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は5人(-20%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて20人(83%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年26%、2036年47%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



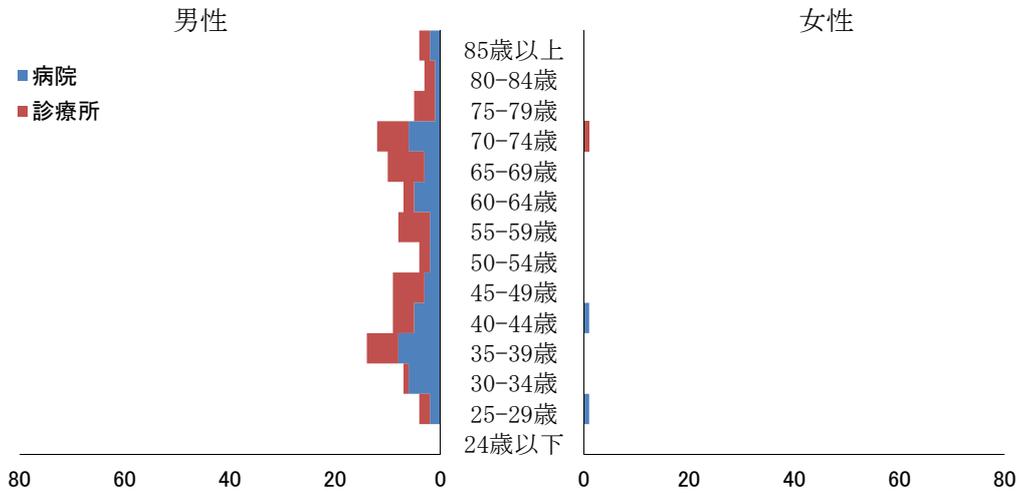
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

萩医療圏

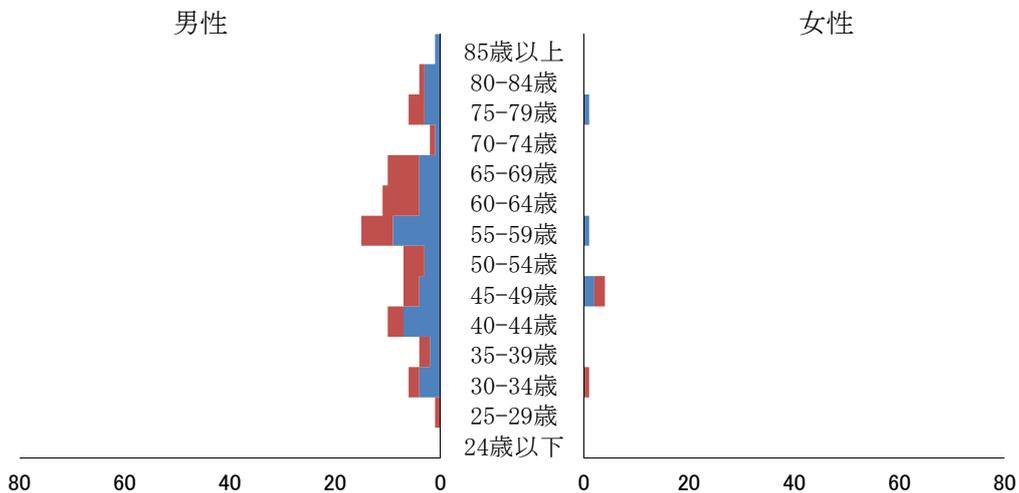
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

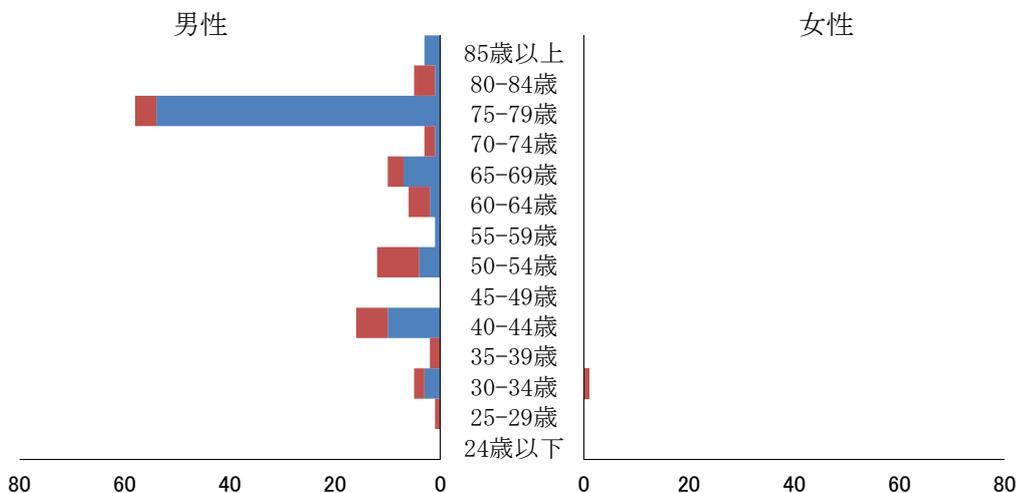
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

萩医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	53,023	43,862	35,450	-17,573	-33%	-9,161	-17%	-8,412	-19%	
医療施設勤務医師数	91	92	93	2	2%	1	1%	1	1%	
人口10万対	171.6	209.7	262.3	90.7	53%	38.1	22%	52.6	25%	
男性医師数	84	83	78	-6	-7%	-1	-1%	-5	-6%	
人口10万対	158.4	189.2	220.0	61.6	39%	30.8	19%	30.8	16%	
女性医師数	7	5	2	-5	-71%	-2	-29%	-3	-60%	
人口10万対	13.2	11.4	5.6	-7.6	-57%	-1.8	-14%	-5.8	-51%	
病院勤務医師数	49	56	76	27	55%	7	14%	20	36%	
人口10万対	92.4	127.7	214.4	122.0	132%	35.3	38%	86.7	68%	
診療所勤務医師数	42	52	64	22	52%	10	24%	12	23%	
人口10万対	79.2	118.6	180.5	101.3	128%	39.3	50%	62.0	52%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	8	8	9	1	13%	0	0%	1	13%
	35-49歳	25	23	20	-5	-20%	-2	-8%	-3	-13%
	50-64歳	34	21	20	-14	-41%	-13	-38%	-1	-5%
	65歳以上	24	40	44	20	83%	16	67%	4	10%
	75歳以上(再掲)	12	13	28	16	133%	1	8%	15	115%
男性	24-34歳	7	7	6	-1	-14%	0	0%	-1	-14%
	35-49歳	21	20	17	-4	-19%	-1	-5%	-3	-15%
	50-64歳	33	18	18	-15	-45%	-15	-45%	0	0%
	65歳以上	23	38	37	14	61%	15	65%	-1	-3%
	75歳以上(再掲)	11	13	26	15	136%	2	18%	13	100%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0	
	50-64歳	1	4	0	-1	-100%	3	300%	-4	-100%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	15	10	10	-5	-33%	-5	-33%	0	0%
	50-64歳	17	10	7	-10	-59%	-7	-41%	-3	-30%
	65歳以上	13	32	55	42	323%	19	146%	23	72%
	75歳以上(再掲)	8	11	43	35	438%	3	38%	32	291%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	10	21	21	11	110%	11	110%	0	0%
	50-64歳	17	11	24	7	41%	-6	-35%	13	118%
	65歳以上	11	16	15	4	36%	5	45%	-1	-6%
	75歳以上(再掲)	4	5	8	4	100%	1	25%	3	60%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)